

MEIKO

PT-1500

PROGRAM TIMER

取扱説明書

明京電機株式会社

プログラムタイマー PT-1500
取扱説明書

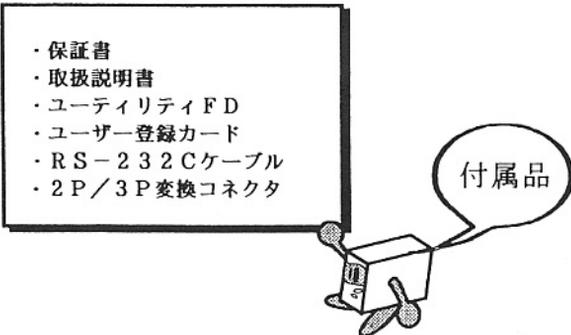
この度は、プログラムタイマー PT-1500をお買い上げいただき
まことにありがとうございます。

- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。
- この説明書と保証書を大切に保存し必要なときはお読み下さい。
- 保証書は必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入を確かめて
販売店からお受け取り下さい。

ご使用前に必ずこの取り扱い説明書をよくお読みのうえ、内容を理解してから
正しくお使い下さい。

お読みになった後は、いつでも見られるように、お手元に大切に保管して下さい。

この取り扱い説明書を紛失または損傷した場合、製品をお買い求めの販売窓口
などでお求め下さい。

- 
- ・保証書
 - ・取扱説明書
 - ・ユーティリティFD
 - ・ユーザー登録カード
 - ・RS-232Cケーブル
 - ・2P/3P変換コネクタ

付属品

必ずお読み下さい。

この取り扱い説明書では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使い頂くために守っていただきたい事項を示しています。

本文中のマークの意味は、次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

 <p>危険</p>	<p>この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。</p>
 <p>警告</p>	<p>この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <p>注意</p>	<p>この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
 <p>お知らせ</p>	<p>この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容、および利用できない機能などの内容を示しています。</p>
 <p>アドバイス</p>	<p>この表示は、製品を取り扱う上で知っておくと便利な事項および操作へのアドバイスなどの内容を示しています。</p>

- ◆ 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点が御座いましたら販売窓口等へお申し付け下さい。
- ◆ 本製品の故障，誤動作，不具合，あるいは停電等の外部要因によって生じた損害等の経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので予めご了承下さい。

安全上のご注意

ここでは製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示と説明を列記しています。

ご使用前によくお読みいただき、内容をご理解の上、正しくお使いください。

また、取扱説明書は、お読みになった後も、いつでも読むことのできる場所へ大切に保管してください。

製品の移動などに伴って、お使いになる方が変わる際には、取扱説明書を必ずお渡しください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故により財産等に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止

行為を指示する記号



プラグを抜く



禁止



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

●万一異常が発生したら、電源プラグをすぐ抜く！

煙、変な音、においがするといった場合は、ただちに使用をやめ、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。



プラグを抜く

●極めて高い信頼性や安全性が必要とされる機器に接続しない

製品は一般オフィスや家庭のOA機器と接続する用途に設計されています。人命に直接関わる医療機器などの極めて高い信頼性または安全性が必要とされる機器には接続しないでください。



禁止

●ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないでください。特に110Vを越える電圧では製品を破壊するおそれがあり、火災の原因となりますので、絶対に接続しないでください。



注意

●分解したり改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、カバーをはずして内部の部品に触ったり、製品を改造したりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。



分解禁止

●電源コードを大切に

コードに重いものを載せたり、熱器具に近づけないでください。コードが損傷し火災や感電、故障の原因となります。また、コードを加工したり無理に曲げたり引っ張ったりすることも、火災や感電の原因となるのでおやめください。コードが傷んだ場合はお買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。



禁止

●異物を入れない（特にお子様にご注意を）

製品の通気口などに、金属類や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。万一異物が入った場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。



禁止

●雷が鳴り出したら製品や電源プラグに触れない

感電の原因となります。



接触禁止



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故により財産等に損害を与えたりすることがあります。

- 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
コードを引っ張って抜くと傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

- ぬれた手で電源プラグにさわらない
ぬれた手で電源プラグを抜いたり、差し込んだりしないでください。
感電の原因となることがあります。



接触禁止

- 水気の多い場所では使用しない
風呂場や炊事場など水気の多い場所では使用しないでください。
火災や感電の原因となります。



禁止

- 通気孔をふさがない
製品には、内部の温度上昇を防ぐために通気孔が開けられています。
タオルやテーブルクロスなどをかけたりして、通気孔をふさがない
てください。内部に熱がこもり、やけどや火災の原因となることが
あります。



禁止

- 不安定な場所には置かない
ぐらついた台の上や傾いた所、また衝撃や振動の加わる所など、
不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがや
故障の原因となります。



禁止

- 製品を落したりして破損した場合は
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。電源プラグを
コンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社までご相談
ください。



プラグを抜く

- 花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを製品の上に置かない
内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。万一水な
どが内部に入ったときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜い
てください。



禁止

- 風通しの悪いところに置かない
製品を押し入れやラックなど、密閉された場所に置かないでください。
熱がこもり、やけどや故障の原因となることがあります。



禁止

●湿気やほこりの多いところに置かない

湿気やほこりの多い場所、または調理台や加湿器の近くなど、油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。



禁止

●温度が高くなるところに置かない

直射日光の当たるところや熱器具の近くなど、高温になるところに置かないでください。やけどや故障の原因となることがあります。



禁止

●電源プラグとコンセントの定期点検を

電源プラグとコンセントは長時間つないだまましていると、ほこりやちりがたまり、そのままの状態で使用を続けると、火災や感電の原因となることがあります。定期的な清掃をし、接触不良などを点検してください。



注意

●お手入れのときは

お手入れの際は、安全のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

●データの保存について

データの通信を行う際には、あらかじめデータのバックアップを取るなどの処置を行ってください。回線や製品の障害によりデータが消失するおそれがあります。



禁止

お願い

●汚れたときは

汚れは柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、布に水か水でうすめた中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから軽くふき取ってください。ベンジンやシンナーなどの揮発性の有機溶剤や薬品、化学そうきん、殺虫剤などは使用しないでください。変形、変色の原因となります。

●ゴム・ビニール製品を長時間製品と接触させない

変質したり塗料がはげるなどの原因となります。



注意

OSによっては、タイマ等で電源を切断するとシステムに異常を生じる場合があります。
OSのマニュアルをよくお読みになって、ご利用ください。

警告文、注意文は、必ずお読み下さい。

目次

安全にお使いいただくために

安全上のご注意（警告文、注意文）

目次

お使いになる前に 1 1

- ・プログラムタイマーの特徴
- ・PT-1500の各部の名称

お使いになるための準備 1 4

- ・購入された直後の操作
- ・タイマ機能のみ利用する場合の接続
- ・コマンドとタイマ機能を利用する場合の接続
- ・リモートパワー機能（通信でオン）を利用する場合の接続

単機能で使ってみる（基本操作編） 2 0

- ・マニュアルでパソコンを立ち上げる
- ・タイマでパソコンを立ち上げる
- ・通信でパソコンを立ち上げる

組み合わせ機能で使ってみる（応用操作編） 2 6

- ・パソコンをタイマで立ち上げてコマンドで切る
- ・パソコンを通信で立ち上げてコマンドで切る
- ・手動で立ち上げて自動で切る
- ・ネットワークサーバーやWindows NTなどのOSを終了する
- ・遠隔地からパソコンをリセットする

タイマスケジュールの概念 3 2

- ・開始時間と終了時間
- ・ON動作とOFF動作
- ・電源供給停止警告
- ・重なるの動作
- ・タイマ設定の種類
- ・信号監視機能

リモートパワー機能の概念 3 6

- ・立ち上げ信号（電源供給開始）
- ・保持信号（電源供給継続）
- ・リモートパワー立ち上げ無効時間
（リモートパワーによる電源供給禁止）
- ・タイマスケジュールによる電源供給中のリモートパワー禁止
- ・リモートパワー機能の禁止



各機能の相互関係	38
・リモートパワー機能とタイマ機能	
・タイマスケジュール機能中のリモートパワー機能	
・リモートパワー機能中のタイマスケジュール機能	
立ち上げステータス	41
パネル操作による日時設定	42
パネル操作による環境設定	43
・環境レジスタ設定パネル表示一覧	
パネル操作によるタイマスケジュール設定	46
・タイマスケジュール/日時設定 パネル表示一覧	
リモート設定	49
・接続PCからの設定	
・通信回線を介しての設定	
・指定時間に通信回線を介しての設定	
リモート設定コマンド	52
・リモート設定用コマンド一覧	
・リモート設定 アンサーメッセージ一覧	
環境レジスタ	59
・リモート設定	
・パネル設定	
・環境レジスタ一覧	
シャットダウン機能（別売オプション機能）	64
・シャットダウンタイマ動作中の各機能	
オプションの接続	67
・シャットダウンアダプター	
・シャットダウンケーブル	
困った（トラブル）時のQ&A	69
付録	73
・休日カレンダー	
・底面部ディップスイッチ	
・機能仕様	
・インターフェース仕様	
・入力信号の有効パルス幅	



メモ



プログラムタイマの特徴



◎ カレンダー機能付きタイマ

カレンダー機能付きのタイマを内蔵していますので、指定の週・曜日の任意の時間帯に電源をオン/オフする事ができます。

例 月～金曜日は、9：00～17：30まで電源をオンして、土曜日は第3週のみ平日と同じように電源をオンする事ができます。

◎ 通信によるリモート電源制御

RPC機能（リモート パワー コントロール）を内蔵していますので、夜間の通信によってコンピュータを起動、無人運転でファイル転送を行い通信終了後に電源を切ることができます。

◎ コマンドでの電源コントロール機能

コマンドやRS-232Cの制御により電源をオン/オフすることができます。いろいろなコマンドを用意していますので、ご利用のソフトウェアに機器の電源管理機能を付加することができます。

例 業務終了まぎわに大量のプリンタ出力やバックアップ作業などを行う場合、バッチファイルの最後に電源オフ用のコマンドを記入する事により、処理終了後のコマンドにより電源をオフすることができます。

◎ 電源オン種別による起動ソフト選別

どのように電源がオンしたか（タイマ/通信/手動）を立ち上げステータス信号によってパソコンに通知することができます。

例 タイマ/手動で電源がオンした場合には、通常の業務ソフトウェアを起動し、夜間に通信で電源をオンした場合には、通信ソフトウェアを起動するなど、起動するソフトウェアを使い分けることができます。

◎ リモート設定機能

タイマ設定/環境設定など、すべての設定はPT-1500本体パネルだけでなく、接続されたパソコンおよび通信での設定ができます。

例 休日スケジュールの変更などがあった場合、本社サイトで各支店の変更が行え、設定内容の一元管理ができます。

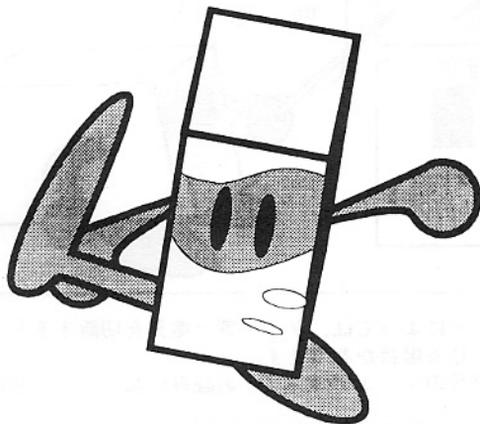
◎ シャットダウン機能

電源オフの前にソフトウェアに対してシャットダウン信号を出すことができます。（オプションが必要です。）



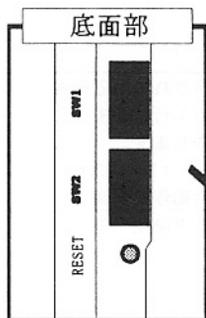
設定キーを押した時の各動作は次のようになります。

名称	機能	
	タイマ動作中	設定処理中
MODE	<ul style="list-style-type: none">・1秒以上押し続けると、時間表示からタイマスケジュール設定、日時設定モードに変わります。・SHIFT キーと同時に、1秒以上押し続けると、環境レジスタ設定モードに変わります。	<ul style="list-style-type: none">・パネル設定内の1階層の場合は、パネル設定を終了します。・その他の階層の場合は、1階層に戻ります。
+	次の動作を日渡りで本体LCDに表示します。 表示は、キーを押している間です。	<ul style="list-style-type: none">・LCD表示されている階層内での設定の変更を行います。・数値を増やします。・SHIFT キーと同時に押すことにより、逆の動作をします。
SET	モデム設定（レジスタR2）の設定内容（モデム アリ/ナン）をLCDに表示します。	各設定や数値を確定します。
BACK	直前の電源供給要因を本体LCDに表示します。 表示は、キーを押している間です。	各設定やキャンセルを行います。
SHIFT	単独では、動作しません。 MODE キーと同時に、1秒以上押し続けると、環境レジスタ設定モードに変わります。	他のキーと同時に押してキーの拡張を行います。

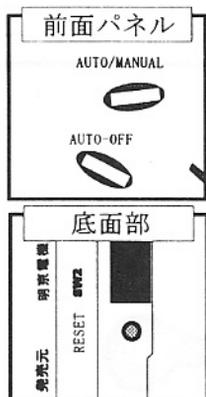
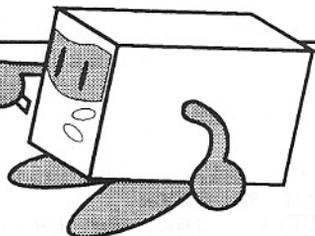


購入された直後の操作

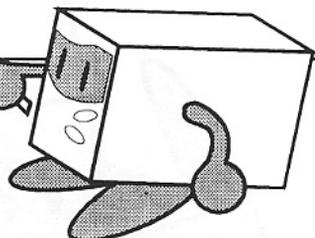
初めてお使いになる場合、PT-1500の通信諸設定を行い、システムリセットを行ってから現在時刻のセットをして下さい。



購入後まず最初に底面部のディップスイッチで通信に関する諸設定を行ってください。詳しくは、付録の底面部ディップスイッチを参照してください。



前面パネルの「AUTO/MANUAL」キーと「AUTO-OFF」キーを同時に押しながら、底面後部にあるリセットキーを押して下さい



注意

OSによっては、タイマ等で電源を切断するとシステムに異常を生じる場合があります。

OSのマニュアルをよくお読みになって、ご利用ください。

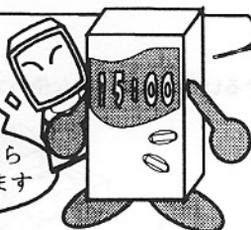


警告

PT-1500 をシステムリセットした場合、時計機能/タイマ設定も含めてユーザーが変更可能な設定値全てが工場出荷値になります。

その後で現在時刻の
設定をします

パソコンから
設定もできます



例えば、現在時刻を下記のように合わせるには

1996年 2月16日 11:50

95/12/11
00:00

MODE



1

MODE キーを1秒以上押し続け、設定モードに入ります。
表示が“システムSW/スケジュール”になります。

システムSW
スケジュール



2

+ キーを1回押して表示を
“システムSW/ニチジセッテイ”にします。

システムSW
ニチジセッテイ



3

“システムSW/ニチジセッテイ”を確認して
SET キーを押します。

ニチジセッテイ
1995ネン



4

+ もしくは、**+** & **SHIFT** キーで西暦を
1996年に合わせます。

ニチジセッテイ
1996ネン



5

SET キーを押して西暦を確定します。

ニチジセッテイ
50フン



6

4、**5**と同様のパネル操作を行い、月日、時分を
設定します。

システムSW
ニチジセッテイ



7

設定終了で“システムSW/ニチジセッテイ”表示に
なります。
MODE キーを押すと設定モードを終了します。

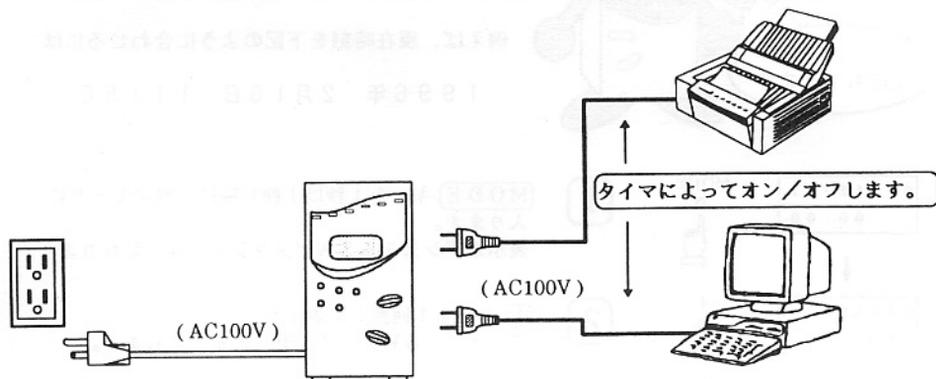
96/ 2/16
11:50



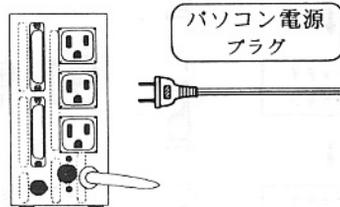
年、月日、時分を全て設定しないと、設定が無効になります。

タイマ機能のみ利用する場合の接続

タイマによって電源コンセントのオン/オフさせるいちばん基本的な使い方です。

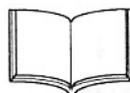


- 1 パソコンなどの誤動作をさけるため PT-1500の状態表示ランプ“OUTPUT”が消灯していることを確認して下さい。



- 2 パソコンやプリンターなどの電源プラグを電源コンセントに接続します。

- 3 タイマをセットして使用します。



タイマの設定は、パネル操作によるタイマスケジュール設定のページを参照して下さい。

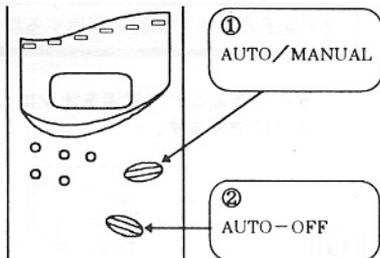
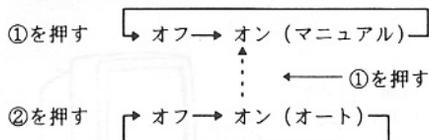


注意

PT-1500の電源プラグは、必ず15A以上使える壁コンセントなどに接続して下さい。



手で電源のオン/オフをするキー操作により手でオン/オフができます。各キーを押すたびに次のように動作します。

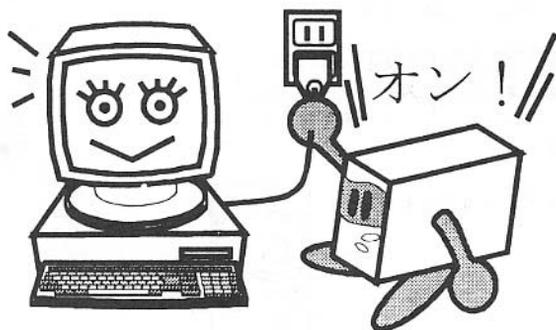


AUTO/MANUAL キーで電源操作を行うとタイマの切断時間になっても電源は切れません。タイマなどによって電源が切れては困るときなどはマニュアルオンの状態で使用して下さい。

※マニュアルオンの状態からは、**AUTO/MANUAL** キーを押すと電源をオフできます。

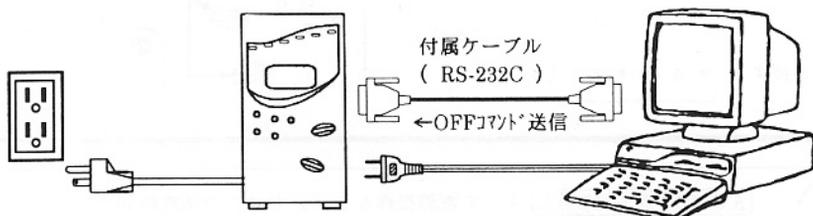


AUTO-OFF キーを3秒間以上押し続けても電源をオフする事ができます。



コマンドとタイマ機能を利用する場合の接続

タイマ機能などで電源をオンにした後、パソコンからのコマンドによって電源をオフにできます。



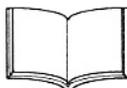
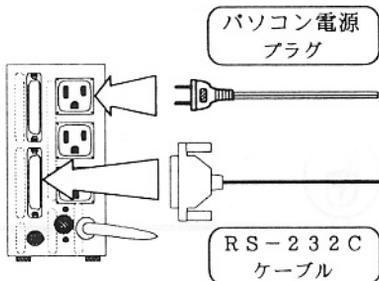
① パソコンなどの誤動作をさけるため PT-1500 の状態表示ランプ “OUTPUT” が消灯していることを確認して下さい。

② パソコンやプリンタなどの電源プラグを電源コンセントに接続します。(パソコンやプリンタの電源スイッチは、ON にしておいて下さい。)

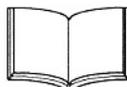
③ パソコンからの RS-232C ケーブルを RS-232C コネクタ (DTE) に接続します。

④ **AUTO/MANUAL** キーを押して電源をオンにしたのち、パソコンにユーティリティソフトをインストールします。

⑤ タイマをセットします。



ユーティリティーに関しては添付FDのREADMEをご参照下さい。



タイマの設定は、パネル操作によるタイマスケジュール設定のページを参照して下さい。



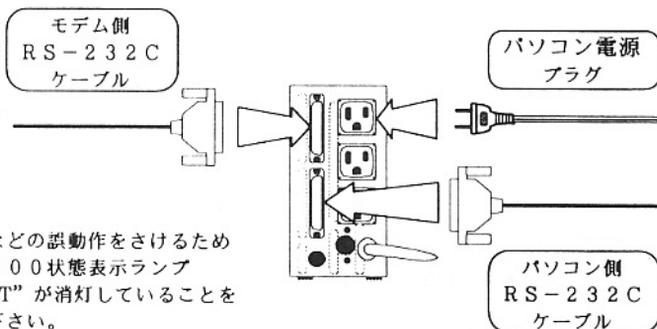
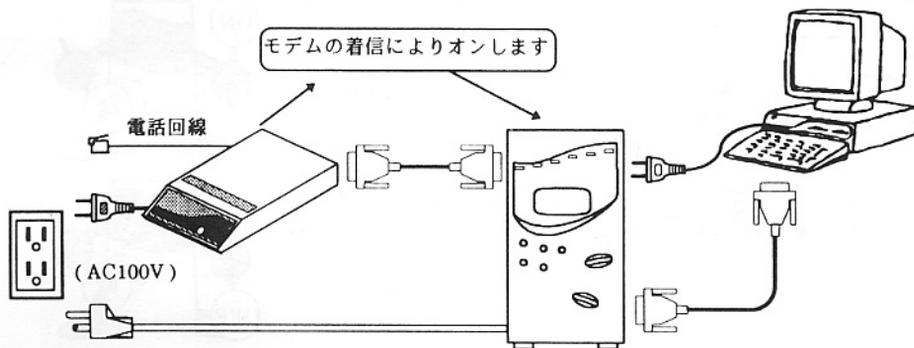
注意

PT-1500の電源プラグは、必ず15A以上使える壁コンセントなどに接続して下さい。

お使いになるための準備

リモートパワー機能（通信でオン）を利用する場合の接続

モデムの着信により自動的に電源をオンする事ができます。



- 1 パソコンなどの誤動作をさけるため PT-1500 状態表示ランプ “OUTPUT” が消灯していることを確認して下さい。
- 2 パソコンやプリンタなどの電源プラグを電源コンセントに接続します。
(パソコンやプリンタの電源スイッチは、ON しておいて下さい。)
- 3 パソコンからの RS-232C ケーブルを RS-232C コネクタ (DTE) に接続し、モデムからの RS-232C ケーブルを RS-232C コネクタ (DCE) に接続します。
モデムのモジュラーケーブルを電話回線に接続します。



モデムの電源プラグは、必ず壁コンセントなどの常に通電しているコンセントに接続して下さい。



注意

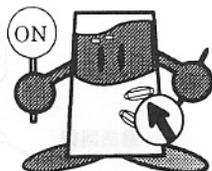
PT-1500の電源プラグは、必ず15A以上使える壁コンセント等に接続して下さい。

マニュアルでパソコンを立ち上げる

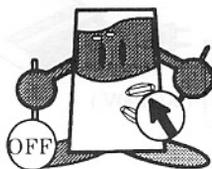
マニュアルで電源オンしたい場合、フロントパネルにあるキー操作で行えます。

パターン 1

① 電源オフ時に、**AUTO/MANUAL** キーを押すと電源オン状態になります。



② **AUTO/MANUAL** キーを再度、押すと電源オフ状態になります。

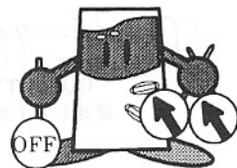


パターン 2

① 電源オフ時に、**AUTO-OFF** キーを押すと電源オン状態になります。



② **AUTO/MANUAL** キーを2回押すと電源オフ状態になります。



（タイマ/通信のどちらかの電源オフ条件で電源オフ状態になります。）



オートモードによる電源オンの時、**AUTO-OFF** キーを3秒以上押し続けることにより、電源オフにすることができます。



AUTO-OFF キーで電源をオンして、4秒以内に通信のオフ条件が発生しても、電源はオフしません。これは電源オン後、4秒間はパソコンの起動による信号線ノイズでの誤動作を防ぐために信号を無視しています。



利用者の誤操作を防ぐために、本体パネルスイッチを無効にすることもできます。環境レジスタのR20=1にすると、**AUTO/MANUAL** キー以外は無効になります。環境レジスタのR20=3にして、本装置の底面ディップスイッチ（SW2-1）をONにすると、パネルのキーは全て無効になります。

タイマでパソコンを立ち上げる

プログラムタイマー（PT-1500）は、100個までのタイマスケジュールを組み合わせて電源のオン/オフを制御する事ができます。



たとえば、タイマNo. 00に月～金の毎日8:00～19:00の間は電源をオンし続けたい設定をするには



95/11/20
18:03

MODE



- ① **MODE** キーを 1 秒以上押し続けます。

システムSW
スケジュール

SET



- ② “システムSW/スケジュール”を確認して **SET** キーを押します。

タイマNo.
(00) シンキ

SET



- ③ タイマNoは、タイマ設定を収納するワクの番号です。タイマNo 00を選んで **SET** キーを押して下さい。

ドウサモード
ON

SET



- ④ ドウサモードには、指定時間のあいだオン状態にするモードと、指定時間のあいだオフにするモードの2種類があります。
“ドウサ ON”を選んで **SET** キーを押して下さい。

ドウサ ON
毎月金

SET



- ⑤ “ドウサ ON 毎月金”を選んで **SET** キーを押して下さい。

ST:00:00
ET:00:00

SET



- ⑥ 動作時間の設定には、時/分の決定ごとに **SET** キーを押して下さい。
設定が終了すると、③に戻ります。



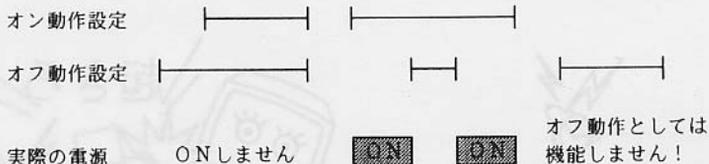
+ もしくは **+** & **SHIFT** キーで、各項目/数値を変更することができます。



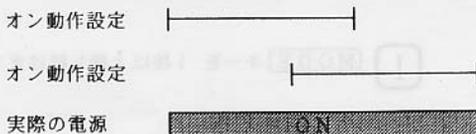
タイマ設定には、大きく2つの動作があります。

- ・ オン動作 : 設定された時間の間、電源をオンします。
- ・ オフ動作 : 設定された時間の間、電源をオンにしません。

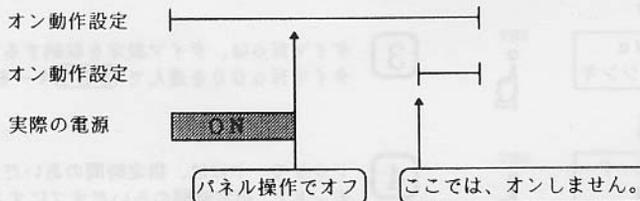
オフ動作は、オン動作と重なったときにのみ動作します。



2つのタイマ設定が重なった場合、一連のタイマ設定として動作します。



タイマ動作中にパネル操作でオフした場合、重なったタイマ動作は動作しません。



タイマ設定には、カレンダー機能により曜日や日付を指定した設定ができます。

表 示	機 能	ON 設定	OFF 設定
毎日	毎日、指定時刻	○	なし
毎月金	毎週、月曜から金曜まで指定時間	○	なし
毎週×ヨウビ	毎週、指定曜日の指定時間（日～土）	○	○
毎月××ヨウビ	毎月、指定週の指定曜日の指定時間	○	○
毎年 ×/×	毎年、指定の月日の指定時間	○	○
1ド ×/×	本年、指定の月日の指定時間一度のみ	○	○
リモートタイマ	指定時間にメンテナンスのできる設定	○	なし



カレンダー機能

プログラムタイマは環境レジスタのR23を1にすると内蔵のカレンダー機能によって、2014年までの祝日、振り替え休日、及び日曜日が自動的にOFFにできます。

春分の日、秋分の日、工場出荷時に天文的に予想される日を設定してありますが将来的において変更される可能性があります。
休日設定を利用される際には実際の休日と確認した上でご利用下さい。

付録の休日カレンダーを参照してください。



タイマ動作は、プログラムタイマの内部的には翌日の0時0分を区切りに24時間の動作を決定しています。

また、タイマ設定を変更した時にも動作の決定をしていますが、変更を行ったタイマ設定のオン時刻が既に過ぎて、なおかつ、オフ時刻が日をまたがった場合は、オフ時刻が過ぎても電源がオフになりません。

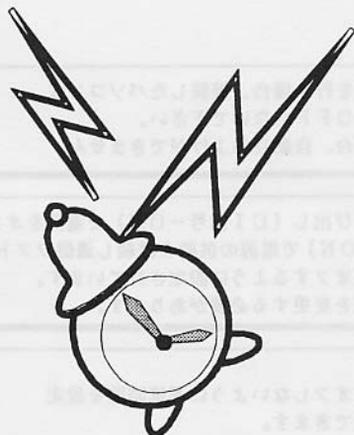


電源OFF時などの警告音を消したり、大きくしたりできます。
環境レジスタR21を下記のように変更できます。

0 : 消音

1 : 工場出荷値

2 : 大きくする



通信でパソコンを立ち上げる

電話回線に接続されたモデムに着信する事によって、パソコンの電源を立ち上げることができます。



- 1 パソコン、プログラムタイマ、モデムを正しく接続します。
- 2 **AUTO/MANUAL** キーを押してパソコンの電源をオンにします。
- 3 モデムが着信した後、自動的に通信ソフトウェアが起動されるように、バッチファイルを変更します。
- 4 **AUTO/MANUAL** キーを押してパソコンの電源をオフにします。
モデムの着信待ち状態にします。



接続方法は、リモートパワー機能を利用する場合の接続ページを参照して下さい。



通信による、パソコンの自動立ち上げを行う場合、接続したパソコンはパソコンの電源スイッチで直接ON/OFFしないで下さい。
パソコンの電源スイッチがOFFの場合、自動立ち上げができません。



工場出荷値は、接続されたモデムの呼び出し（CI信号-ON）で電源をオンし通信ソフトウェアの起動（ER信号-ON）で電源の供給を継続し通信ソフトウェアの終了（ER信号-OFF）で電源をオフするように設定されています。
従って、通信ソフトウェアの動作環境を変更する必要があります。



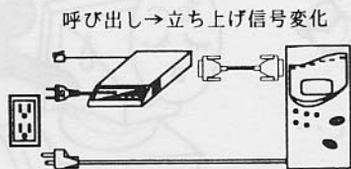
通信ソフトが終了してもすぐに電源をオフしないように遅延時間を設定（R46：初期値30秒）することができます。

立ち上げ信号と保持信号



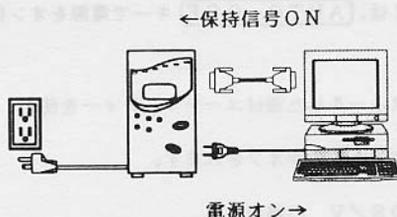
通信でパソコンを立ち上げる際、プログラムタイマはモデムからのRS-232Cの信号線変化を見て電源のオン/オフを行います。

立ち上げ信号とは、電源オンのきっかけになる信号線で立ち上げ信号がOFF→ONになるとプログラムタイマは、電源をオンにしてパソコンを起動します。



保持信号とは、電源オン後にパソコンが動作中であることをプログラムタイマに知らせる信号線で、保持信号がONの間は電源の供給を継続します。

保持信号がON→OFFに変化すると、一定時間（電源保持時間：R46）後に電源をオフにします。



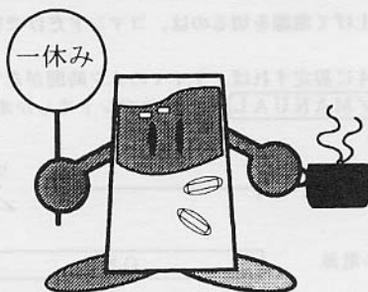
信号線は、モデム→パソコン方向と、パソコン→モデム方向があります。プログラムタイマが利用できる信号線は、下記のとおりです。

立ち上げ信号

モデム側 : CI, CD
パソコン側 : ER

保持信号

モデム側 : CD, DR
パソコン側 : ER



パソコンをタイマで立ち上げてコマンドで落とす



タイマーで立ち上げて…



コマンドで切る！

- ① タイマ設定もしくは、**AUTO-OFF** キーで電源をオン状態にしてパソコンを立ち上げます。
- ② パソコンにインストールした添付ユーティリティを使い、コマンドで電源をオフします。
次のように入力すると電源がオフされます。

（ DOS/V の場合 ）

>POWER OFF /V1



パワーコマンドなどは、バッチファイルやマクロで使うと大変便利です。
詳しくは、付属ユーティリティFDのREADMEをお読み下さい。

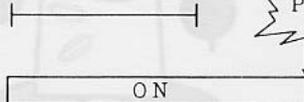


タイマで立ち上げて電源を切るのは、コマンドだけで行いたい場合

R30=4に設定すれば、タイマのオフ時間がきても電源は切れずに
AUTO/MANUAL キーやコマンドでしかオフできないようになります。

オン動作設定

実際の電源



POWERコマンド

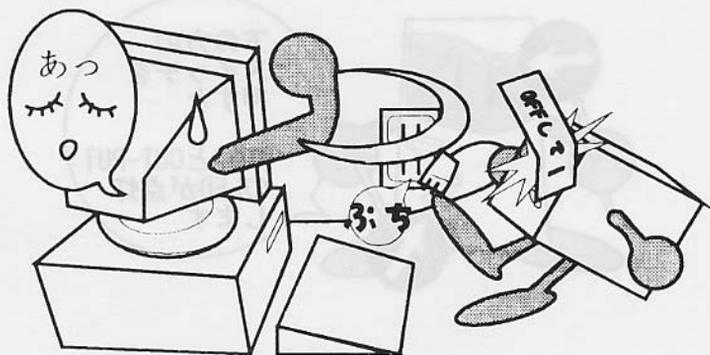
通信で立ち上げて電源を切るのは、コマンドで落とす



通信で立ち上げて…



レジスタR43=2に設定すれば、通信が切れても電源は切れずに
[AUTO/MANUL]キーやコマンドでしかオフできないようになります。



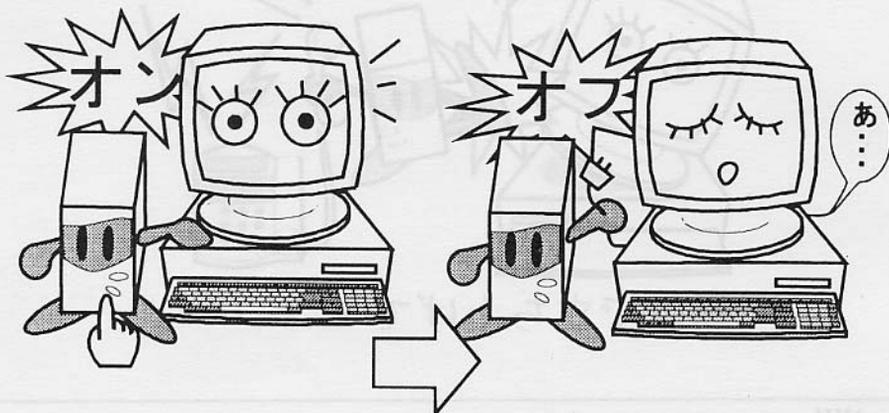
コマンドで切る！



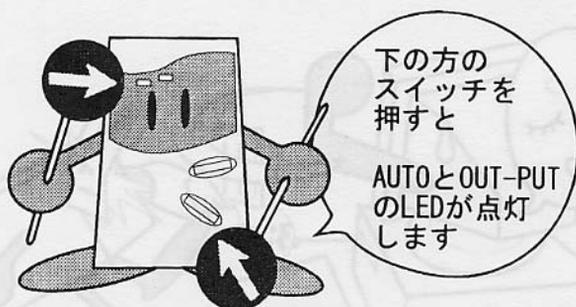
パワーコマンドなどは、バッチファイルやマクロで使うと大変便利です。
詳しくは、付属ユーティリティFDのREADMEをお読み下さい。

手で立ち上げて自動で切る

立ち上げは手動で行い、タイムスケジュールのOFF指定時間で電源をオフしたり処理終了後、PT-1500へのコマンドで電源をオフしたい時に使います。



- 1 フロントパネルの **AUTO-OFF** キーで電源をオンにします。



- 2 タイムスケジュールのOFF時間に電源をオフします。
 または、起動バッチファイルの最終に付属ユーティリティソフトウェアのPOFFコマンドを書き込むことで、作業が終了した時点で電源をオフすることができます。

タイムスケジュールのOFF時間後に電源オフしたい時には **AUTO/MANUAL** キーを押すか、ユーティリティのPONコマンドでマニュアルオンにしてください。

ネットワークサーバーやWindowsNTなどのOSをオフする

OSにサポートされているシャットダウン機能を利用してサーバーなどの自動運転ができます。



- ① サーバーの電源をプログラムタイマに接続し、サーバーとプログラムタイマを別売のシャットダウンケーブルで接続します。
- ② プログラムタイマのレジスタR62をR62=1に設定すると、シャットダウン機能を有効にすることができます。
- ③ サーバーのシャットダウン設定（COMポート、バッテリー時間 など）を正しく設定します。
シャットダウン通知後の実際に電源をオフするまでの時間は、R63で設定することができます。（単位：分，1～90分）
- ④ タイマ設定を行い運用します。



シャットダウン機能を利用するには、別売のシャットダウンケーブルが必要です。



カウントダウン中にリモート設定モードに入ると電源のオフはしません。



注意

各OSのシャットダウンに必要な設定は、必ず各OSのマニュアルを参照して下さい。



注意

サーバーのデータは、定期的にバックアップを取って下さい。

遠隔地からパソコンをリセットする

遠隔地にあるパソコンを電話回線を使用して、リセット（電源のオン→オフ→オン）することができます。



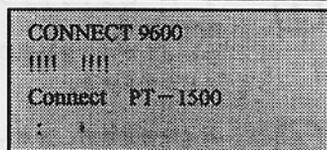
1

モデムの設定を自動着信できるように設定します。
遠隔地からモデムを使って、ダイヤルします。



2

相手との接続確認後、IDを送信してリモート設定に入ります。
（IDの初期値は、“!!!!”を2回送信です。）
リモート設定モードになると
“Connect PT-1500”が表示され
入力待ち状態になります。（プロンプトは、:）



3

入力待ち状態でコマンド“PwreSet”を送信して下さい。
パソコンの電源をオフして、8秒後に電源をオンします。



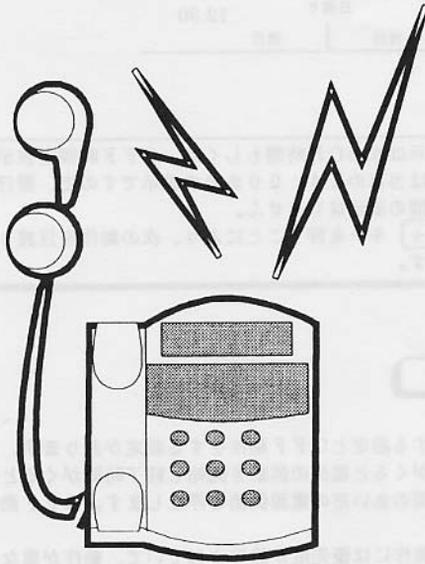
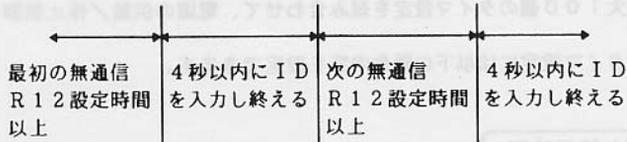
4

コマンド“EXIT”を送信してリモート設定モードを終了します。
モデムの接続を切ります。





IDの入力タイミングは初期設定値では、次のように入力しなければなりません。



タイマスケジュールの概念

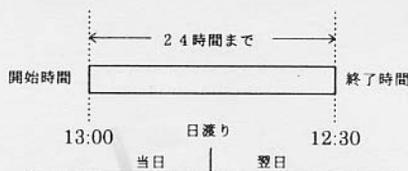
本装置は最大100個のタイマ設定を組み合わせ、電源の供給/停止制御を行うことができます。

それぞれのタイマ設定には以下の動作内容を設定できます。

開始時間と終了時間

開始時間と終了時間は24時間まで設定ができ、日渡りの設定もできます。時間設定は24時間の表示で設定してください。(AM/PMの設定はなく24時間で指定してください)。

注意 : 毎日の設定のみ、24時間の設定はできません。



LCD表示は次のON時間もしくは、OFF時間を表示しますがこの表示は当日の24:00までの表示ですので、翌日以降でのON時間OFF時間の表示はしません。ただし、**[+]** キーを押すことにより、次の動作を日渡りでLCDに一つ表示します。

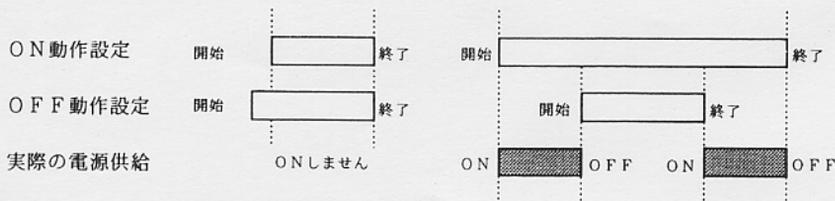
ON動作とOFF動作

タイマ設定にはON動作をする設定とOFF動作をする設定があります。

ON動作は設定された時間がくると電源の供給を開始し終了時間がくると供給を停止します。

OFF動作は指定された時間のあいだの電源供給を停止します。(OFF動作はタイマ設定に対してのみ有効です)。

タイマのON動作とOFF動作には優先度が設定されていて、動作が重なった場合は、OFF動作はON動作を隠すように動作します (ON動作のマスク)。

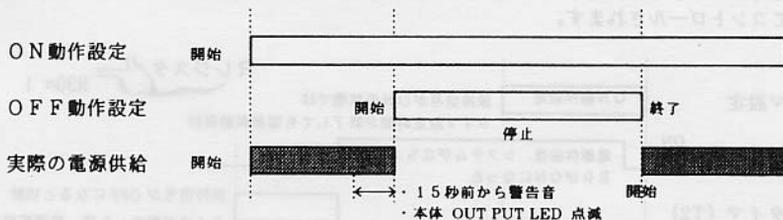


電源供給停止警告

電源供給停止1分前にカウントダウンを開始し、15秒前からの警告音とOUTPUT LEDの点滅で電源供給停止をお知らせします。

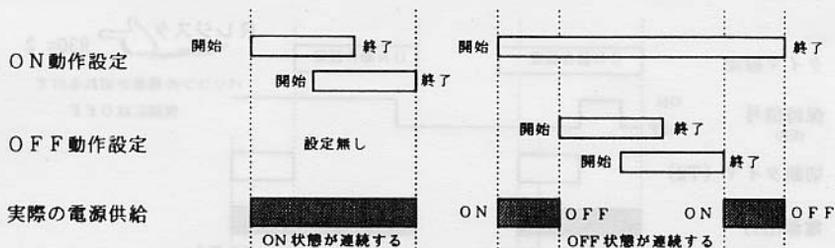
ただし、シャットダウン機能ON (R62=1)の時は、シャットダウン機能の設定に従います。

(ただしタイマスケジュール時のみ、電源OFF設定が00時00分の場合、警告音、LEDの点滅はありません。)



重なる動作

ON動作とON動作や、OFF動作とOFF動作といった同一動作において設定された時間が重なった場合、重なった動作は連続したON動作もしくはOFF動作として動作します。



タイマ設定の種類

タイマ設定にはカレンダー機能により曜日や日付を指定した下表の設定ができます。

表 示	機 能	ON 設定	OFF 設定
毎 日	毎日、指定時間	○	なし
毎月金	毎週、月曜から金曜まで指定時間	○	なし
毎週 ×ヨウビ	毎週、指定曜日の指定時間 (日～土)	○	○
毎月××ヨウビ	毎月、指定週の指定曜日の指定時間	○	○
毎年 ×/×	毎年、指定の月日の指定時間	○	○
1ド ×/×	本年、指定の月日の指定時間一度のみ	○	○
リモートタイマ	指定時間にメンテナンスのできる設定	○	なし

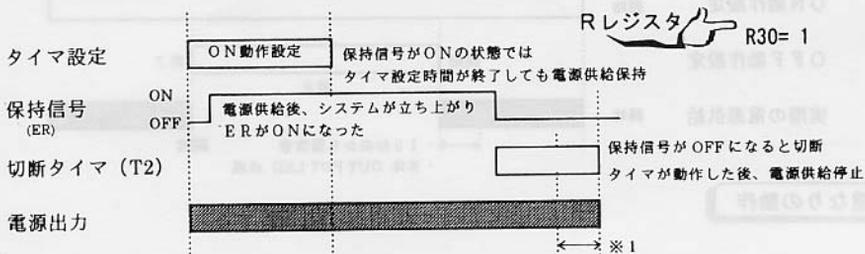
※：1ドおよびリモートタイマ (RMT) は動作後、翌日にタイマ設定から削除されます。

※：×は、指定曜日、指定週、指定月日などを表示します。

通常はタイマ設定されたON設定時間・OFF設定時間に電源動作を行います。設定によりON設定時間に電源供給後、RS-232Cの制御信号によりパソコン側から電源供給のコントロールをすることができます。

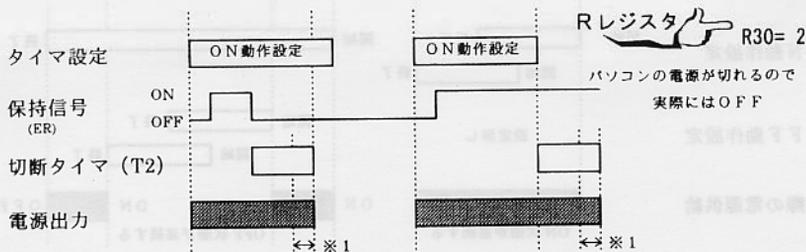
●ERのみ

タイマ設定時間により電源供給を始めた後は、タイマ終了時間に関わりなく、パソコンからの保持信号によってコントロールされます。



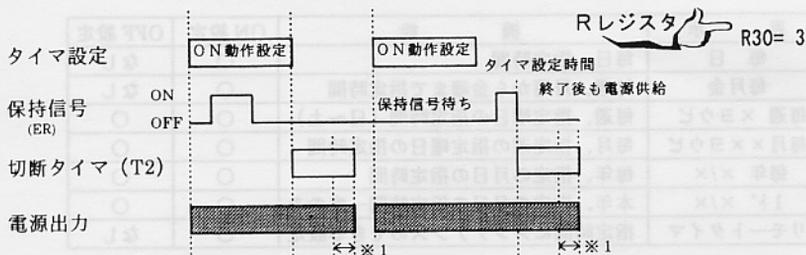
●ER&タイマ

ER信号のOFFかタイマ終了時間のどちらかが発生した場合に切断します。



●ER+タイマ

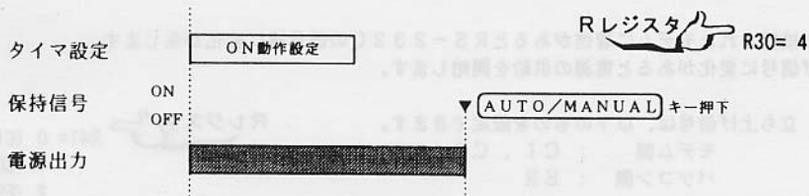
ER信号のOFFかタイマ終了時間の長い条件で切断します。
(ER信号のONかタイマ時間内のどちらかであれば保持します。)



※1 : 電源停止15秒前から警告音 & 本体 OUT PUT LED が点滅します。ただし、シャットダウン機能がOFFの場合。

●HOLD

タイマ設定時間により電源供給を始めた後は、**AUTO/MANUAL** キー以外では切断できません。
AUTO/MANUAL キーによる切断の時、警告音 & LED 点滅 はしません。



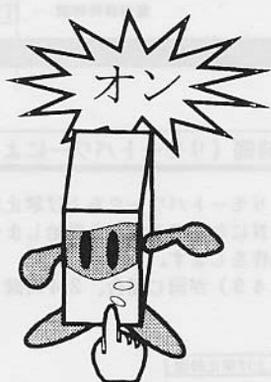
保持信号とは

作業中なのにタイマOFF時間で電源が切れては困るといったとき
 RS-232Cのある信号線をチェックしながら電源を保持することができます。



切断タイマとは

保持信号がOFFになると切断タイマが動き、保持信号が再度ON
 になるのを待ちます。設定時間内にONにならない場合は電源供給を
 停止します。



リモートパワー機能の概念

本装置にモデムを接続し、電話回線を利用して遠隔地から電源を操作することができます。

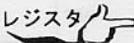
立ち上げ信号（電源供給開始）

本装置に接続されたモデムに着信があるとRS-232Cの信号線に変化が生じます。
立ち上げ信号に変化があると電源の供給を開始します。

立ち上げ信号は、以下のものを設定できます。

モデム側 : CI、CD

パソコン側 : ER

Rレジスタ  R41= 0 (CI)
1 (CD)
2 (ER)

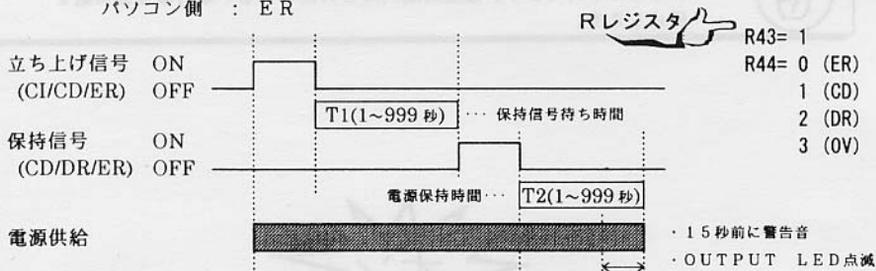
保持信号（電源供給継続）

立ち上げ信号によって電源の供給が始まり、パソコンが通信を開始するとRS-232Cの信号線に変化が生じます。信号がONの間は電源供給を続けます。
信号がOFFになると切断待ちタイマが働き、その間に信号がONにならなければ電源供給を停止します。

立ち上げ信号は、以下のものを設定できます。

モデム側 : CD、DR

パソコン側 : ER



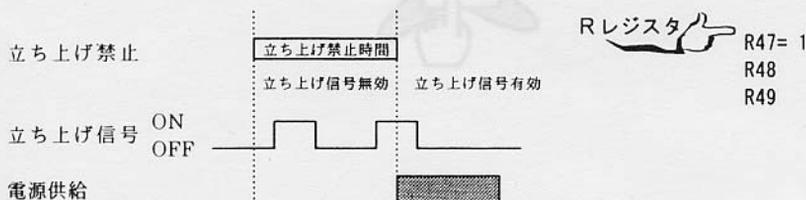
リモートパワー立ち上げ無効時間（リモートパワーによる電源供給禁止）

Rレジスター（R47）の設定で、リモートパワー立ち上げ禁止が設定できます。

指定の時間帯は、立ち上げ信号がONになっても電源を供給しません。

指定の時間帯は、毎日有効として動作をします。

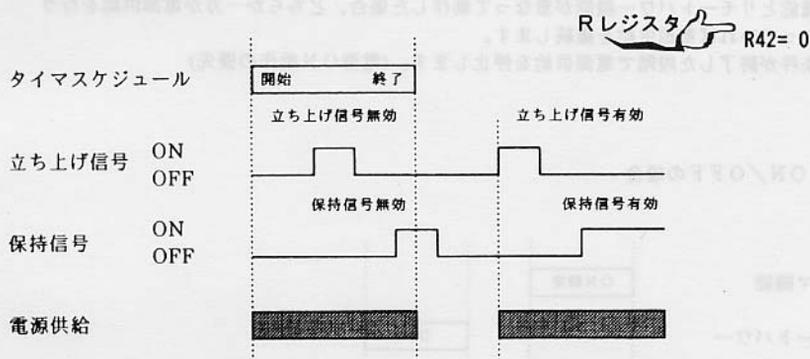
開始時間（R48）、終了時間（R49）が同じ場合、24時間立ち上げ禁止になります。



タイマスケジュールによる電源供給中のリモートパワー禁止

Rレジスタ（R42=0）の設定により、タイマスケジュールによる電源供給中は、リモートパワー機能を禁止することができます。

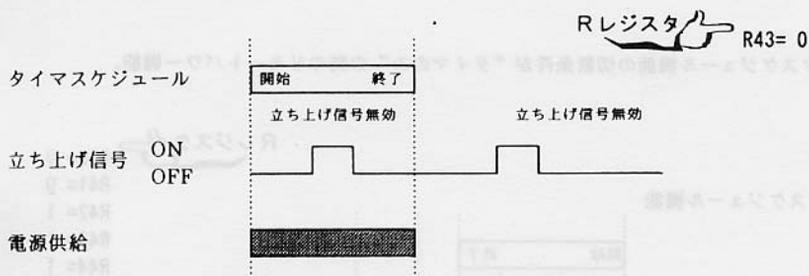
電源供給中のリモート立ち上げ信号は、全て無効になり電源停止後の立ち上げ信号が有効になります。



リモートパワー機能の禁止

Rレジスタ（R43=0）の設定により、リモートパワー機能を常時禁止することができます。

リモート立ち上げ信号は全て無視されます。



各機能の相互関係

リモートパワー機能とタイマ機能

タイマ機能とリモートパワー機能が重なって動作した場合、どちらか一方が電源供給を行う条件になっていれば電源供給を継続します。
両方の条件が終了した段階で電源供給を停止します。(電源ON動作の優先)

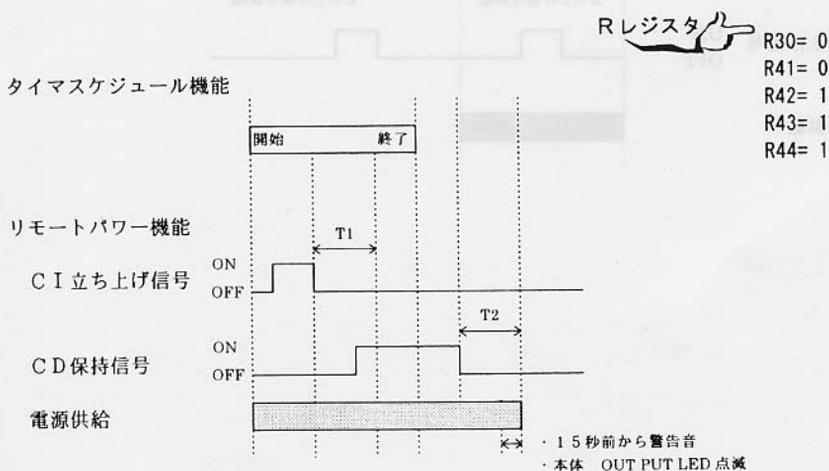
個別 ON/OFF の場合



タイマスケジュール機能中のリモートパワー機能

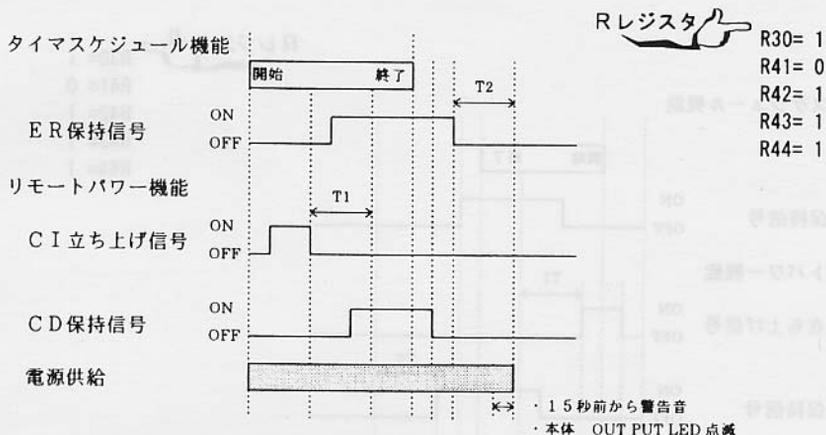
例

タイマスケジュール機能の切断条件が“タイマのみ”の時のリモートパワー機能。



例

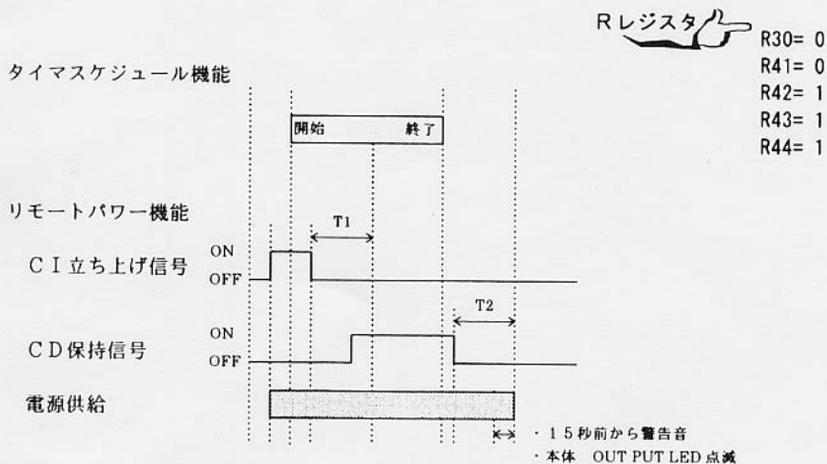
タイマスケジュール機能の切断条件が“ERのみ”の時のリモートパワー機能。



リモートパワー機能中のタイマスケジュール機能

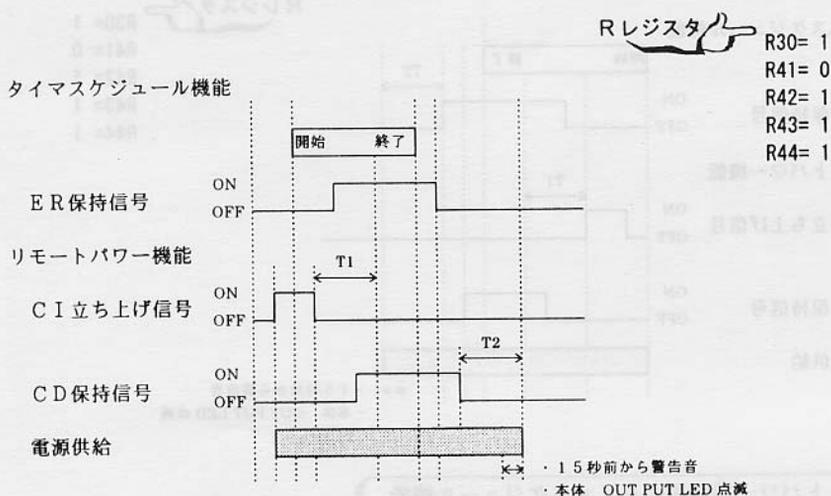
例

タイマスケジュール機能の切断条件が“タイマのみ”の時のリモートパワー機能。



例

タイマスケジュール機能の切断条件が“ERのみ”の時のリモートパワー機能。



立ち上げステータス

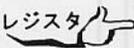
電源供給後、システムが立ち上がった後にどの要因で起動されたかを確認することができます。本装置はCIおよびDRをモデムによる制御とは関係なく強制的に制御し、起動ステータスとしてシステムから確認することができます。

システムは起動後、ERをONにするまえにCIおよびDRの組み合わせ状態を確認することによりどのような起動手段で電源供給が行われたかを確認することができます。

起動ステータスが出ている間は、動作確認用に本体のAUTO LEDが点滅します。

起動ステータスはERがONになった段階で起動ステータスとしての制御を終了し、スルーの状態に戻ります。

起動ステータス	CI	DR
通信立ち上げ	ON	ON
タイマ立ち上げ	OFF	ON
オートオフ	ON	OFF
マニュアル	OFF	OFF

Rレジスタ  R24
R25

上記ステータス信号を利用できない場合、PowerOnTime コマンドで、電源供給要因を調べることができます。

詳しくは、コマンド PowerOnTime を参照して下さい。



リモート設定のコマンドはリモート設定コマンドのページを参照して下さい。

注意



ステータス出力中にリモート設定/パネル設定を起動した場合ステータス信号/AUTO LED点滅は、キャンセルされます。



ユーティリティソフトを利用することにより業務ソフトと通信ソフトを使い分けることができます。

パネル操作による日時設定



- ① **MODE** キーを1秒以上押し続けます。
表示がスケジュール表示に変わります。

- ⑥ **MODE** キーを押すことにより設定を終了します。



- ② **+** キーを押すことにより、表示が日時設定に変わります。



- ③, ⑤ **SET** キーを押すことにより“日時設定モードに入る”, “変更した項目を決定する”ことができます。

⑤: 参照

日時変更項目は、年、月、日、時、分 です。



- ④ **+** キーを押すことにより、数値を変更することができます。
変更が無い場合は、そのまま⑤を行います ④: 参照

全ての変更項目が終わるまで、④ ~ ⑤ を繰り返します。



- ④ **SHIFT** & **+** キーを押すことにより、数値を変更することができます。



- ⑤ **BACK** キーを押すことにより直前の設定に戻ることができます。



日時設定は、設定項目全てを設定しないと無視されます。
指定時間内 (R7=180秒) にパネル操作を行わない (放置) 場合自動的に終了します。



パネル設定モード中は、タイマによる電源供給 開始/停止は無視され
パネル設定モードに入る前の状態が維持されます。

パネル操作による環境設定



1 **MODE** & **SHIFT** キーを同時に1秒以上押し続けます。
表示がレジスタ表示に変わり、環境設定モードに入ります。

6 **MODE** キーを押すことにより環境設定を終了します。



2, 4

+ キーを押すたびに、レジスタ番号や設定値が変わります。
変更/確認したい、項目まで + キーを押します。

(A) : 参照



3, 5

SET キーを押すことにより“レジスタの変更モードに入る”
，“変更した設定値を有効にする”ことができます。

(B) : 参照



(A)

SHIFT & + キーを押すことにより、レジスタ番号や
設定値が変わります。



(B)

BACK キーを押すことにより変更した、設定値を無効に
することができます。



AUTO/MANUAL キーを押すことにより、LCD表示を
“R××表示” ↔ “カナ表示” に切り替えることもできます。



指定時間内 (R7 = 180秒) にパネル操作を行わない (放置) 場合
自動的に終了します。



パネル設定モード中は、タイマによる電源供給 開始/停止は無視され
パネル設定モードに入る前の状態が維持されます。

環境レジスタ設定パネル表示一覧

95/09/27

14:28

MODE & SHIFT

キーを1秒以上押し続けて下さい。

<>内は、カナ表示モード

*の付いている、数値/記号は初期値です。

リモート設定関係

一般設定

セッテイホウコウ R01=*1 <PC ヨリ>	セッテイホウコウ R01= 0 / 1 <モデム ヨリ / PC ヨリ>
モデムセッテイ R02=*0 <モデム アリ>	モデムセッテイ R02= 0 / 1 <モデム アリ / モデム ナシ>
プロンプト R03=*0 <ON>	プロンプト R03= 0 / 1 <ON / OFF>
エコーCR R04=*0 <CR+LF>	エコーCR R04= 0 / 1 <CR+LF / CR>
ジソウシンCR R05=*0 <CR+LF>	ジソウシンCR R05= 0 / 1 <CR+LF / CR>
CIセッテイ R06=*0 <OFF>	CIセッテイ R06= 0 / 1 <OFF / ON>
ムツウシンタイマ R07=*018 <0180 sec>	ムツウシンタイマ R07= 0 ~ 255 <0 ~ 255 sec>
セツダンSIG R08=*0 <ER 01.0 s>	セツダンSIG R08= 0 / 1 / 2 <ER / DR / CD 01.0 s>
セツダンタイマ R09=*010 <ER 01.0 s>	セツダンタイマ R09= 0 ~ 255 <ER / DR / CD 0 ~ 25.5 s>
IDモジ R10=*!!!! <!!!!>	IDモジ R10= xxxx <xxxx>
IDカイスウ R11=*0 <ID 2コ>	IDカイスウ R11= 0 / 1 / 2 <ID 2コ / ID 1コ / OFF>
IDマチジカン R12=*02 <02 sec>	IDマチジカン R12= 1 ~ 10 <1 ~ 10 sec>
セツPC CD R13=*1 <ON>	セツPC CD R13= 0 / 1 <OFF / ON>
セツPC CS R14=*1 <ON>	セツPC CS R14= 0 / 1 <OFF / ON>
セツPC DR R15=*1 <ON>	セツPC DR R15= 0 / 1 <OFF / ON>
STモデムER R16=*1 <ON>	STモデムER R16= 0 / 1 <OFF / ON>
STモデムRS R17=*1 <ON>	STモデムRS R17= 0 / 1 <OFF / ON>
ホンタイ/レベル R20=*0 <ON>	ホンタイ/レベル R20= 0 / 1 / 2 / 3 <ON / A/MANUAL / AUTO OFF / SWOFF>
プザ- R21=*1 <LOW>	プザ- R21= 0 / 1 / 2 <OFF / LOW / HI>
タンマツセッテイ R22=*1 <Std&FM-R>	タンマツセッテイ R22= 0 / 1 / 2 <NORMAL / Std&FM-R / N5900>

次ページに続く

前ページより

一般設定	キューブツ R23=*0 <セッテイ ナシ>	キューブツ R23= 0 / 1 <セッテイ ナシ / OFFセッテイ>
	ステータス R24=*0 <OFF>	ステータス R24= 0 / 1 <OFF / ON>
	DRセッテイ R25=*0 <ER ONスルー>	DRセッテイ R25= 0 / 1 <ER ONスルー / T2DR OFF>
	キドウノイズ R26=*004 <004 sec>	キドウノイズ R26= 4 ~ 255 <004 ~ 255sec>
リモート電源停止条件設定	タイマホジ R30=*0 <タイマ ノミ>	タイマホジ R30= 0 / 1 / 2 / 3 / 4 <ホジパ/ERパ/DRパ/ETXパ/HOLD>
	OVケンシュツ R40=*0 <OFF>	OVケンシュツ R40= 0 / 1 <OFF / ON>
	チチアグSIG R41=*0 <CI (モデム)>	チチアグSIG R41= 0 / 1 / 2 <CI (モデム) / CD (モデム) / ER (PC)>
	タイマ ONゴ R42=*1 <RPC ON>	タイマ ONゴ R42= 0 / 1 <RPC ON / RPC ON>
	RPCモード R43=*1 <ON (SIG)>	RPCモード R43= 0 / 1 / 2 / 3 <OFF / ON(SIG) / ON(HOLD) / ETXON>
	ホジSIG R44=*0 <ER (PC)>	ホジSIG R44= 0 / 1 / 2 / 3 <ER(PC) / CD(モデム) / DR(モデム) / PC LIVE>
	T1タイマ R45=*030 <T1=030 s>	T1タイマ R45= 1 ~ 999 <T1=001 ~ 999 s>
	T2タイマ R46=*030 <T2=030 s>	T2タイマ R46= 1 ~ 999 <T2=001 ~ 999 s>
	チチアグケンシ R47=*0 <OFF>	チチアグケンシ R47= 0 / 1 <OFF / ON>
	キンシSTART R48=*0000 <ST 00:00>	キンシSTART R48= 0000 ~ 2359 <ST 00:00 ~ 23:59>
キンシEND R49=*0000 <ED 00:00>	キンシEND R49= 0000 ~ 2359 <ED 00:00 ~ 23:59>	
その他	サイデンゲン R60=*0 <タイマイゾン>	サイデンゲン R60= 0 / 1 / 2 <タイマイゾン / ツネニOFF / モトニモデル>
	Auto Off R61=*0 <タイマ ノミ>	Auto Off R61= 0 / 1 / 2 <タイマ ノミ / T1スタート / T2マチ>
	ShutDown R62=*0 <OFF>	ShutDown R62= 0 / 1 <OFF / ON>
	ShutTime R63=*10 <10 min>	ShutTime R63= 0 ~ 90 <01 ~ 90 min>

パ° 初操作によるタイマスケジュール設定



① **MODE** キーを1秒以上押し続けます。
表示がスケジュール表示に変わります。

⑦ **MODE** キーを押すことにより設定を終了します。



② **SET** キーを押すことにより、タイマ設定モードに入り
タイマ番号選択表示になります。



③ **+** キーを押すことにより、タイマ番号を選択できます。
A : 参照



④ , ⑥ **SET** キーを押すことにより、項目や数値を決定します。
タイマの設定を終了すると、タイマ番号選択表示に戻ります。
B : 参照



⑤ **+** キーを押すことにより、各項目や数値を変更できます。
パネル表示がタイマ番号選択表示になるまで⑤ ~ ⑥を
繰り返します。
A : 参照



A **SHIFT** & **+** キーを押すことにより、項目や数値を
変更することができます。



B **BACK** キーを押すことにより直前の設定に戻ることが
できます。



タイマ設定は、設定項目全てを設定しないと無視されます。
指定時間内 (R7 = 180秒) にパネル操作を行わない (放置) 場合
自動的に終了します。



パネル設定モード中は、タイマによる電源供給 開始/停止は無視され
パネル設定モードに入る前の状態が維持されます。

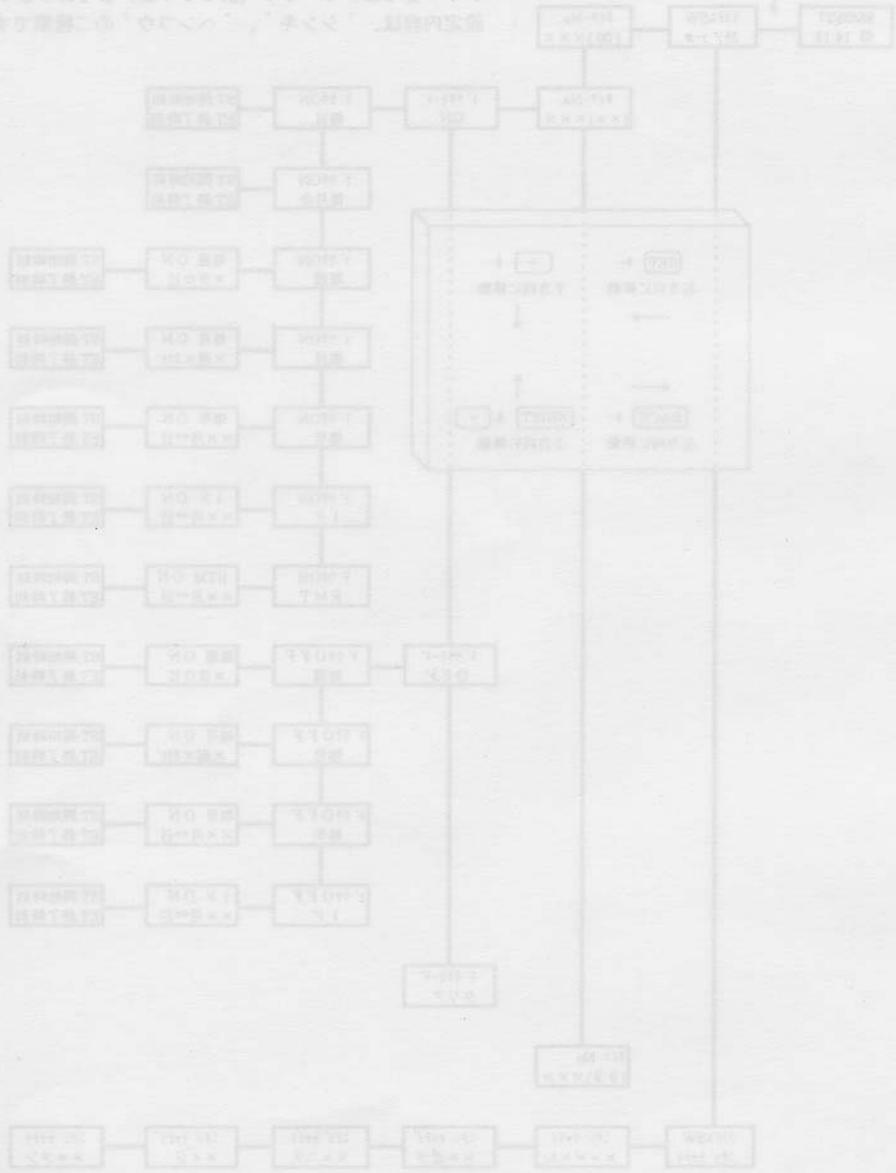
メモ



オートマチックモードの動作モード

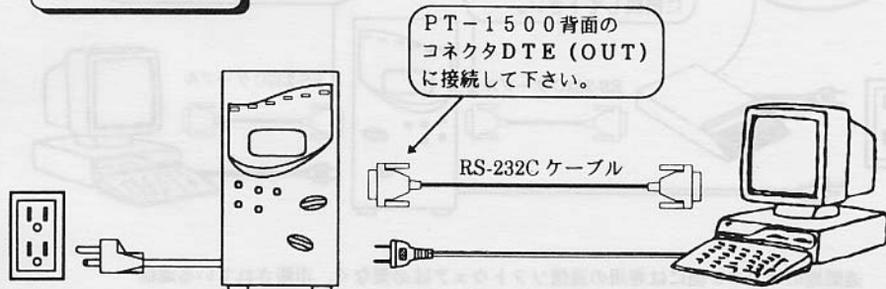
MODE モードは「MODE」キーで設定します。

オートマチックモード (0-9) のモードは、設定メニューの「MODE」キーで設定します。



リモート設定

接続PCからの設定



パソコン側には専用の通信ソフトウェアは必要なく、市販されている通信ソフトウェア等でPT-1500の各種設定ができます。

通信速度等の諸設定は、通信ソフトウェア・PT-1500共に合わせる必要があります。

PT-1500の通信に関する諸設定は、本体底面のディップSWで行います。



通信関係の設定は、本体設定のページを参照して下さい。

リモート設定を行うためのPT-1500設定

- レジスタR01=1 (PC ヨリ) にします。
- レジスタR02=1 (モデム ナン) にします。
- レジスタR08=0 (ER) にします。
- レジスタR10にID入力 (初期値: ! ! ! !)
- レジスタR11=0 or 1にします。
[ID入力回数 初期値: 0 (2回)]
- レジスタR12にID入力の無通信時間 (初期値: 2秒) を設定します。



レジスタの設定は、パネルによる環境設定のページを参照して下さい。

リモート設定モードの入り方 (R10、R11、R12初期値)

- パソコンの通信ソフトウェアを起動します。
- 無通信時間 (2秒) をおいて、4秒以内にID (! ! ! !) を入力します。
- さらに無通信時間 (2秒) をおいて、4秒以内にID (! ! ! !) を入力します。
- リモート設定に入ると、“Connect PT-1500”と表示し、プロンプト“:”が表示されます。

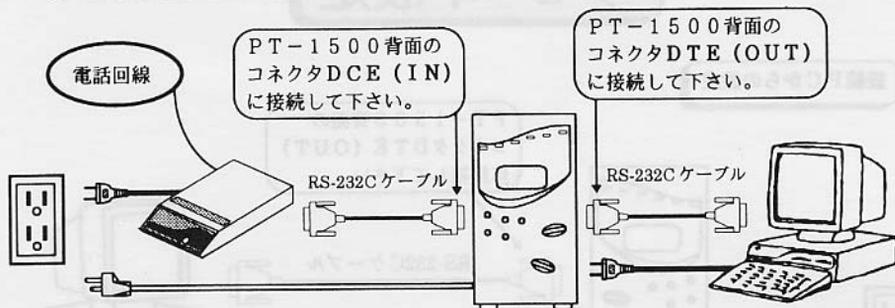


リモート設定のコマンドはリモート設定コマンドのページを参照して下さい。



リモート設定モード中は、タイマによる電源供給 開始/停止は無視されリモート設定モードに入る前の状態が維持されます。

通信回線を介しての設定



遠隔地のパソコン側には専用の通信ソフトウェアは必要なく、市販されている通信ソフトウェア等でPT-1500の各種設定ができます。

通信速度等の諸設定は、遠隔地側の通信ソフトウェアとPT-1500共に合わせる必要があります。

PT-1500の通信に関する諸設定は、本体底面のディップSWで行います。



通信関係の設定は、本体設定のページを参照して下さい。

リモート設定を行うためのPT-1500設定

- レジスタR01=0 (モデム ヨリ) にします。
- レジスタR02=0 (モデム アリ) にします。
- レジスタR08=1 or 2 (DR, CD) にします。
- レジスタR10にID入力 (初期値: !!!!!)
- レジスタR11=0 or 1にします。
[ID入力回数 初期値: 0 (2回)]
- レジスタR12にID入力の無通信時間 (初期値: 2秒) を設定します。



レジスタの設定は、パネルによる環境設定のページを参照して下さい。



リモート設定のコマンドはリモート設定コマンドのページを参照して下さい。

リモート設定モードの入り方 (R10、R11、R12初期値)

- パソコンの通信ソフトウェアで、操作したい局と回線を接続します。
- 無通信時間 (2秒) をおいて、4秒以内にID (!!!!!) を入力します。
- さらに無通信時間 (2秒) をおいて、4秒以内にID (!!!!!) を入力します。
- リモート設定に入ると、“Connect PT-1500”と表示し、プロンプト“:”が表示されます。
- 設定終了後、回線を切断してください。

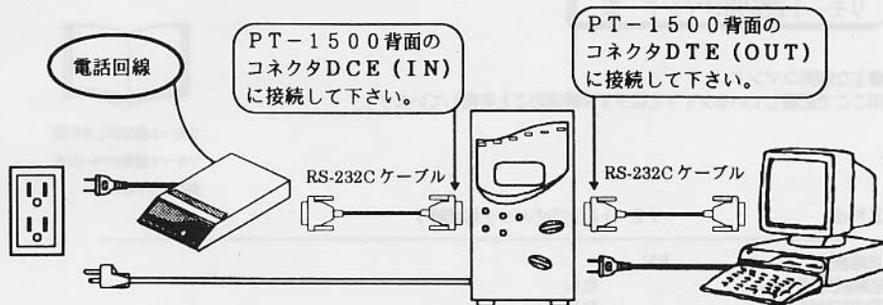


リモート設定モード中は、タイマによる電源供給 開始/停止は無視されリモート設定モードに入る前の状態が維持されます。



PT-1500/モデムの設定により、接続パソコンが起動しないとリモート設定に入れなことがあります。

指定時間に通信回線を介しての設定



遠隔地のパソコン側には専用の通信ソフトウェアは必要なく、市販されている通信ソフトウェア等でPT-1500の各種設定ができます。

通信速度等の諸設定は、遠隔地側の通信ソフトウェアとPT-1500共に合わせる必要があります。

PT-1500の通信に関する諸設定は、本体底面のディップSWで行います。



通信関係の設定は、本体底面のページを参照して下さい。

リモート設定を行うためのPT-1500設定

- ・ レジスタR01=0 (モデム ヨリ) にします。
- ・ レジスタR02=0 (モデム アリ) にします。
- ・ レジスタR08=1 or 2 (DR, CD) にします。
- ・ レジスタR10にID入力 (初期値: ! ! ! !)
- ・ レジスタR11=0 or 1 にします。
[ID入力回数 初期値: 0 (2回)]
- ・ レジスタR12にID入力の無通信時間 (初期値: 2秒) を設定します。
- ・ タイマ設定を“RMT”で設定します。



レジスタの設定は、パネルによる環境設定のページを参照して下さい。



RMTの設定は、基本操作編タイマでパソコンを立ち上げるのページを参照して下さい。

リモート設定モードの入り方 (R10、R11、R12初期値)

- ・ RMTの設定時間前にパソコンの通信ソフトウェアで、操作したい局と回線を接続します。
- ・ 指定時間になると無条件にリモート設定モードに入り“Connect PT-1500”と表示しプロンプト“:”が表示されます。
- ・ 設定終了後、回線を切断してください。



リモート設定のコマンドはリモート設定コマンドのページを参照して下さい。



リモート設定モード中は、タイマによる電源供給 開始/停止は無視されリモート設定モードに入る前の状態が維持されます。



PT-1500/モデムの設定により、接続パソコンが起動しないとリモート設定に入れなことがあります。

リモート設定コマンド

リモート設定用コマンド一覧

●主な制御コマンド

※ここで記載しているタイマとはタイマ設定のことを指しています。



リモート設定のしかたは
リモート設定のページを
参照して下さい。

ENd リモート設定内のバッチ処理終了

省略書式	EN	
初期設定値		なし
設定可能値		なし

ProgramNumber 現在のタイマ設定数を表示

省略書式	PN	
初期設定値		なし
設定可能値		なし

NotUserlist 現在のタイマ未設定番号の一覧表示

省略書式	NU	
初期設定値		なし
設定可能値		なし
表示		設定済みタイマは、##で表示されます。

CLear 既存のタイマ設定内容を全て消去

省略書式	CL	
初期設定値		なし
設定可能値		なし(確認表示有り…Sure(Y/N))

HElp 簡易ヘルプ (コマンド一覧表示)

省略書式	HE	
初期設定値		なし
設定可能値		なし

PwON 電源供給開始

省略書式	PON	
初期設定値		なし
設定可能値		なし

PwOFF シャットダウン(R62=1)時の指定時間(R63)経過後、電源供給停止

省略書式	POFF	
初期設定値		なし
設定可能値		なし

PwOFF ? PwOFFのシャットダウン中の残り時間表示

省略書式 PwOFF?
初期設定値 なし
設定可能値 なし

PwreSet リセット (電源供給を停止して、8秒後に電源供給開始)

省略書式 PS
初期設定値 なし
設定可能値 なし
表示 電源供給時 : Wait 8 sec after Power OFF.
電源停止時 : Quick Power ON.

AutoON パネルAUTO-OFFスイッチと同等動作

省略書式 AON
初期設定値 なし
設定可能値 なし

PwReturn 出力電源をリモート設定以前の状態に戻す

省略書式 PR
初期設定値 なし
設定可能値 なし

PowerOnTime 指定日時の最終電源供給要因を表示します。

省略書式 POT
初期設定値 なし
設定可能値 なし
表示 YYYY/MM/DD HH:MM C

YYYY : 年
MM : 1~12月
DD : 1~31日
HH : 0~23時
MM : 0~59分
C : 電源供給要因表示

NoLog : 履歴なし
ManualON Sw : マニュアルオン
AutoON Sw : オートオン
TimeON : タイマ
RemoteON : 通信
PwON : PwONコマンド
AutoON : AutoONコマンド

EXit リモート設定モード終了

省略書式 EX
初期設定値 なし
設定可能値 なし

●タイマに関するコマンド

Date タイマ月日の設定

省略書式

DA OO/DD?

DA OO/DD,HH:MM-hh:mm,SW1¥

DA (W),HH:MM-hh:mm,SW1¥

DA n(W),HH:MM-hh:mm,SW1¥ 例) 1(3)だと、第1週の水曜日

DA HH:MM-hh:mm,SW1¥

初期設定値
設定可能値

なし

OO = 1~12,* 月、*は13ヶ月後

DD = 1~31 日

W = (0~6) 曜日 日=0, 月=1, 火=2, 水=3,
木=4, 金=5, 土=6

HH = 0~23 設定タイマ開始時

MM = 0~59 設定タイマ開始分

hh = 0~23 設定タイマ終了時

mm = 0~59 設定タイマ終了分

SW1: モードオプション(必須ではありません)

ON 設定

D 毎日(Daily)

S 毎週,月~金(weekdayS)

W 毎週,指定曜日(Weekly)

M 毎月,指定週,指定曜日(Monthly)

Y 毎年,指定月日(Yearly)

O その年の指定月日だけ(Oneshot)

R リモート月日(Rmt)

OFF 設定

WO 毎週,指定曜日(Weekly Off)

MO 毎月,指定週,指定曜日(Monthly Off)

YO 毎年,指定月日(Yearly Off)

OO その年の指定月日だけ(Oneshot Off)

?, ¥: 操作オプション (必須ではありません。また、SW1 との間には
スペース等は必要ありません)。

? タイマ参照

¥ 確認動作なし

タイマ番号入力による参照・登録・削除例

●タイマ参照例

","で複数のタイマを参照できます。
"5-8"で5から8まで参照します。
(下線部は自動表示されます。)

```
_:0,3,5-8?  
00. 12:24-23:12:Daily  
03. 3(4).12:24-23:12:Monthly  
05. 04/04.12:24-23:12:YearlyOff  
06. 04/04.12:24-23:12:Oneshot  
07. 04/04.12:24-12:12:Rmt  
08. 04/04.12:24-23:12:Rmt
```

●タイマ登録例

プログラム番号1に設定する場合、最初に1番の元々のタイマ内容を表示します。
(下線部は自動表示されます。)

```
_:1  
01. 04/04.12:24-23:12:Daily  
DAt: 04/16:09:00-17:00:YO  
Sure(Y/N): Y
```

●タイマ削除例

タイマ番号1の内容表示後、削除確認表示されます。
(下線部は自動表示されます。)

```
_:!  
01. 04/04.12:24-23:12:Daily  
Delete(Y/N): Y  
:
```

注意： 0,2,3-8等の入力で一気にタイマ削除はできません。
誤操作対策のためですので個々に番号を指定して削除してください。

●環境設定とバッチに関するコマンド

REg	環境設定用レジスタに値を設定	
省略書式	REmm REmm=nn	レジスタ設定値の参照 詳細は「環境レジスタ説明」を参照 ※コマンドと値の間にスペースは必要ありません。
初期設定値	1	
設定可能値	mm = 1~63 nn = 数字や文字 設定値	レジスタ番号

STime	現在時刻設定	
省略書式	ST YYYY/MM/DD,HH:MM	
初期設定値	工場出荷時調整時刻	
設定可能値	YYYY= 1994~2093 MM = 1~12 DD = 1~31 HH = 0~23 MM = 0~59	西暦 月 日 時 分

DisplayTime	PT-1500の日時と状態表示	
	状態表示内容	MON (Manual,ON 手動電源 ON 状態) AON (AutoON,自動電源 ON 状態) AOF (AutoOFF,自動電源 OFF 状態)
省略書式	DT	
初期設定値	なし	
設定可能値	なし	

BList	設定タイマリスト表示	
省略書式	BL	
初期設定値	なし	
設定可能値	なし	
例	:BL Clear	タイマ削除 タイマ番号順にリスト
	09:00-17:30,Daily	
	09:00-17:30,weekdayS	
	(1), 23:00-01:00,Weekly	
	3(6), 23:00-01:00,Monthly	
	04/29, 09:00-17:30,Yearly	
	04/29, 09:00-17:30,YearlyOff	
	End	処理終了

BloaD	本体のタイマ設定送信モード	
省略書式	BD (設定タイマ内容)	
初期設定値	なし	
設定可能値	なし	

SList

設定環境リスト表示

省略書式
初期設定値
設定可能値

SL				
なし				
なし				
例				
SL				
R01=1	R02=00	R03=0	R04=0	
R05=0	R06=0	R07=018	R08=0	
R09=010	R10=!!!!	R11=0	R12=02	
R13=1	R14=1	R15=1	R16=1	
R17=1	R20=0	R21=1	R22=1	
R23=0	R24=0	R25=0	R26=004	
R30=0	R40=0	R41=0	R42=1	
R43=1	R44=0	R45=030	R46=030	
R60=0	R61=0	R62=0	R63=10	
End				

Sload

本体の環境設定送信モード

省略書式
初期設定値
設定可能値

SD (設定環境内容)
なし
なし

リモート設定 アンサーメッセージ一覧

●アンサーメッセージ一覧

表示メッセージ	意味
表示なし	設定終了
Sure(Y/N)	動作確認。数字形式の場合は全て YES で処理します。
Delete(Y/N)	削除確認。数字形式の場合は全て YES で処理します。
CMD ERROR	コマンドエラー、データのエラーチェックは行いません。
DATA ERROR	データエラー、コマンドにエラーはありません。
FULL	新たにタイマを設定する空きがありません。

環境レジスタ

リモート設定

各種の環境設定を格納しておくためのレジスタをRレジスタと呼びます。
REnコマンドでRレジスタに設定されている値の確認が出来ます。
Rレジスタの設定は電源を切っても消えません。
例えば、R1レジスタに値を0に設定するには、次のように設定します。

```
例 : RE1
      1          (R1レジスタの値が1の場合)
      : RE1=0
      :
```



リモートによる環境レジスタの設定はリモート設定のページを参照して下さい。

パネル設定

本体の正面パネルの、**MODE** & **SHIFT** キーを押すとLCD表示が、環境レジスタ設定モードに変わります。

表示は、**AUTO/MANUAL** キーにより、カナ表示/R××表示に切り替えることができます。



パネルによる環境レジスタの設定は、パネルによる環境設定のページを参照して下さい。

環境レジスタ一覧

● リモート設定に関するRレジスタ

レジスタ (初期値)	設定値	機能
R1 (1)	0 1	リモート設定の設定方向 モデムより設定 PCより設定
R2 (0)	0 1	モデム接続の設定 DCEコネクタにモデム接続 DCEコネクタにモデム未接続 (PCのみでリモート設定)
R3 (0)	0 1	リモート設定時、プロンプト表示 表示する 表示しない
R4 (0)	0 1	エコーバックCR制御 CR+LF送信 CR送信
R5 (0)	0 1	自局送信CR制御 CR+LF送信 CR送信
R6 (0)	0 1	CI信号でリモート設定 OFF (リモート機能無効) ON (リモート機能有効)
R7 (18)	0~255	リモート設定側の無通信による回線切断タイマ (パネル設定無操作監視タイマ) 0設定時、タイマ無し (単位10秒)

システム設定

レジスタ (初期値)	設定値	機能
R 8 (0)	0 1 2	切断監視信号線 (保持信号, 時間設定は、R 9) ER DR CD
R 9 (10)	0 ~ 255	切断監視時間 (R 8の保持時間) (単位0.1秒)
R 10 (!!!!)	スペース1文字(20h)から /文字(2Fh)までの文字	ID設定 特殊記号4文字固定 (?はスペース文字として処理します)
R 11 (0)	0 1 2	IDに関する設定 (ID入力回数) ID 2個 ID 1個 OFF (ID入力によるリモート設定移行機能無効)
R 12 (2)	1 ~ 10	ID入力までの無通信タイマ (IDは4秒以内に受信) (単位1秒)
R 13 (1)	0 1	リモートモード中の信号線制御設定 CD OFF ON
R 14 (1)	0 1	リモートモード中の信号線制御設定 CS OFF ON
R 15 (1)	0 1	リモートモード中の信号線制御設定 DR OFF ON
R 16 (1)	0 1	リモートモード中の信号線制御設定 ER OFF ON
R 17 (1)	0 1	リモートモード中の信号線制御設定 RS OFF ON

●一般設定

レジスタ (初期値)	設定値	機能															
R20 (0)	0 1 2 3	本体パネルキー設定 AUTO/MANUAL,AUTO-OFF キー使用可能 AUTO/MANUALキーのみ使用可能 AUTO-OFFキーのみ使用可能 AUTO/MANUAL,AUTO-OFFキーのみ使用不可															
R21 (1)	0 1 2	ブザー音量設定 OFF(システムエラー時のみ鳴ります) LOW HI															
R22 (1)	0 1 2	端末機種設定 NORMAL 標準&FM-R N5200															
R23 (0)	0 1	休日設定(日曜・祝日・振替休日の0:00~23:59まで) 無効 有効 [注:有効年月 2014年まで有効]															
R24 (0)	0 1	起動ステータス信号 無効 有効 有効設定時のステータス信号 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>起動種別</th> <th>CI信号</th> <th>DR信号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通信起動</td> <td>ON</td> <td>ON</td> </tr> <tr> <td>タイマ起動</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> </tr> <tr> <td>AUTO-OFFキー起動</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>手動起動</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	起動種別	CI信号	DR信号	通信起動	ON	ON	タイマ起動	OFF	ON	AUTO-OFFキー起動	ON	OFF	手動起動	OFF	OFF
起動種別	CI信号	DR信号															
通信起動	ON	ON															
タイマ起動	OFF	ON															
AUTO-OFFキー起動	ON	OFF															
手動起動	OFF	OFF															
R25 (0)	0 1	DR起動設定(R24=1の設定で有効) ER ONでCIとDRがステータス信号から通信制御線に切り替わる。 ・ER ONでCIがステータス信号から通信制御線に切り替わります。 ・保持タイマ(T2)開始でDRをOFFにします。 ・そして、電源出力がOFFになるとDRがステータス信号から通信制御線に切り替わります。															
R26 (4)	4~255	電源供給開始後の信号無視時間(ノイズ除去用) (単位1秒)															

● タイムスケジュール機能、電源保持条件設定

レジスタ (初期値)	設定値	機能
R 3 0 (0)		タイマで電源供給した場合の電源保持条件選択 (リモートパワー設定によって条件が変わります。)
	0	タイマのみ
	1	ERのみ
	2	ER&(and)タイマ
	3	ER+(or)タイマ
	4	HOLD

● リモートパワー設定 (R 3 0 の設定によって条件が変わります。)

レジスタ (初期値)	設定値	機能
R 4 0 (0)	0 1	PC側のERが0V以外の時、電源供給する機能 OFF (機能無効) ON (機能有効) 注意: この機能を利用する場合、PT-1500をFM-Rと電源接続すると誤動作いたします。
R 4 1 (0)	0 1 2	電源供給を開始する信号選択 CI(モデム側) CD(モデム側) ER(PC側)
R 4 2 (1)	0 1	タイマによる電源供給中のリモートパワー機能の有効/無効 (R43=1の設定で有効) タイマのみ (リモートパワー機能無効) タイマとリモートパワーの機能有効
R 4 3 (1)	0 1 2 3	リモートパワー機能設定 常時リモートパワー機能無効 R44有効 手動起動と同等 (自動電源OFF機能無し) EXT端子のみ有効(立ち上げ信号・保持信号無視)
R 4 4 (0)	0 1 2 3	電源供給条件、保持信号の指定 (R43=1の設定で有効) ER(PC側) CD(モデム側) DR(モデム側) ERが0V以外のとき有効
R 4 5 (30)	1~999	保持信号待ち時間 (T 1) (単位1秒)
R 4 6 (30)	1~999	切断保持信号タイマ (T 2) (単位1秒)
R 4 7 (0)	0 1	リモートパワー機能禁止 (R48, R49) OFF (禁止しない) ON (設定の時間帯は、毎日禁止されます。)
R 4 8 (0)	24時間設定	リモートパワー機能禁止開始時間設定 設定方法: 時分を直接入力します。 12時30分の場合、R48=1230
R 4 9 (0)	24時間設定	リモートパワー機能禁止終了時間設定 設定方法: R48と同じ

●その他

レジスタ (初期値)	設定値	機能
R 6 0 (0)	0 1 2	本体電源投入時の動作 タイマによる電源供給設定のみ有効 直後のみ電源停止 前回電源状態維持 (リモートパワーモードでは立ち上げ 信号があるときのみ供給を維持し、それ以外では停止です。)
R 6 1 (0)	0 1 2	A U T O - O F F キー機能設定 タイマ設定有効 (R30 有効) 保持信号断にて電源停止 (T1 有効) 保持信号の立ち下がりにて電源停止 (T1 無効)
R 6 2 (0)	0 1	電源供給後のシャットダウン機能 有効/無効 (タイマ電源停止動作を UPS に指定時間通知し、電源停止動作 を遅らせます。) 無効 有効 (設定時間は R63 で設定します)
R 6 3 (1 0)	1 ~ 9 0	シャットダウン時間設定 (R62=1 の設定で有効) (単位 1 分)
R 6 8	-	2 4 0 バイトの文字列メモマップ リモート設定のみ有効。 (パネル設定で、内容を見ることはできません。)

注意

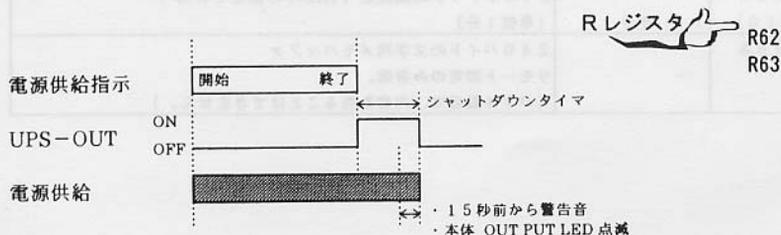


シャットダウン機能

本機能をご利用の際は、別売オプションが必要です。

シャットダウン機能 ON (R62=1) 設定時、全ての電源供給停止指示後、オプション (別売) を使用して接続されているコンピュータ等に電源供給停止前に電源停止を通知することができます。シャットダウン信号は、シャットダウンタイマ (R63=1~90分) の間、出力されます。シャットダウンタイマが始動すると、OUT-PUT LED が点滅し、本体 LCD に秒単位でカウントダウンが表示されます。

- 注意 :
- ・ シャットダウン機能 (R62=1) ON を設定すると、全ての電源供給停止時にシャットダウン機能が動作します。
 - ・ シャットダウン中は、フロント SW で中断することが可能です。
リモート設定モード中は、PON, AON で中断することが可能です。



シャットダウン機能は、UPS (無停電電源装置) の停電信号と同じ信号をシャットダウン信号としてコンピュータに通知しています。

詳しくは、弊社までお問い合わせ下さい。

注意



シャットダウン機能有効時は、リモートパワー機能を終了させる場合 T2 タイマは動作せずにシャットダウンタイマが起動します。

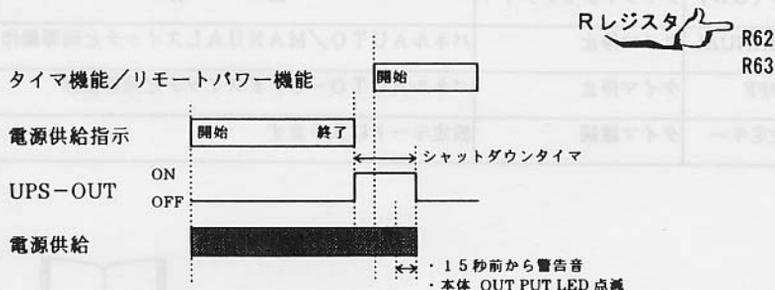
T1 タイマカウント中は“ホジ ××”! と表示し T1 タイマ終了後にシャットダウンタイマが起動されます。

T1 タイマ終了 15 秒前に、T1 タイマ終了警告音が鳴ります。

シャットダウンタイム動作中の各機能

●タイマ機能/リモートパワー機能

シャットダウンタイム中は、タイマ機能/リモートパワー機能による電源供給開始は、無視されます。(シャットダウンタイムが終了しても、無視された機能は動作しません。)
タイマ機能による電源供給開始は、シャットダウンタイム終了1分後から有効になります。



●リモート設定コマンド

リモート設定中に、シャットダウンタイムが始動した場合、コマンドの受付は下記ようになります。

コマンド	シャットダウンタイム	動作
PwON	タイマ停止	パネルAUTO/MANUALスイッチと同等動作
PwOFF	タイマ再始動	シャットダウンを再始動させる
AutoON	タイマ停止	パネルAUTO-OFFスイッチと同等動作
上記以外	タイマ継続	無視される

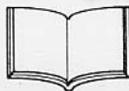


リモート設定のコマンドは
リモート設定コマンドの
ページを参照して下さい。

● パネルからのキー入力

シャットダウンタイム中に、本体パネルから受け付けるキー操作は、下記のようになります。

キー操作 (ON)	シャットダウンタイム	動 作
AUTO/MANUAL	タイマ停止	パネルAUTO/MANUALスイッチと同等動作
AUTO-OFF	タイマ停止	パネルAUTO-OFFスイッチと同等動作
パネル設定キー	タイマ継続	設定モードに入ります



パネルキーの操作はパネルキー操作のページを参照して下さい。



注意

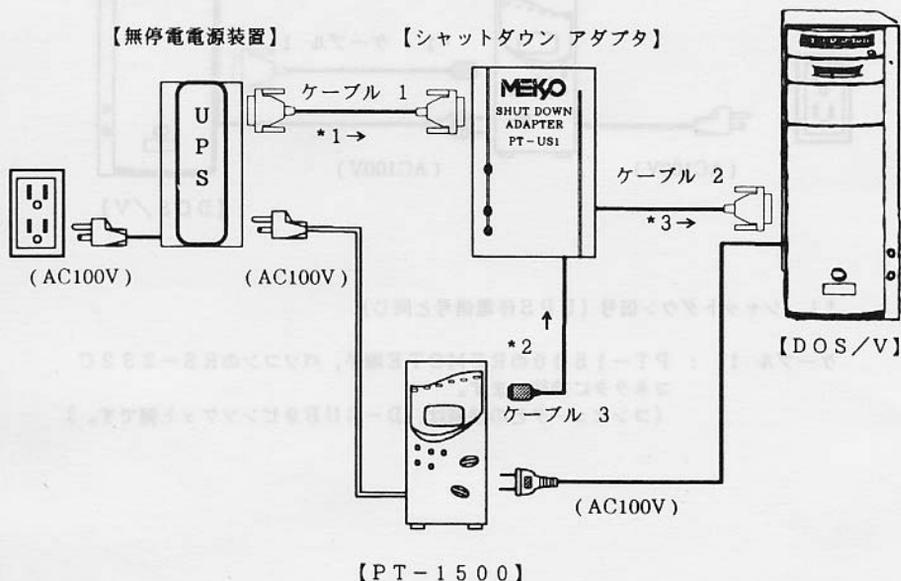
シャットダウン中にパネル設定を行うとシャットダウン機能が正常に働かないことがあります。

オプションの接続

シャットダウン機能を使用する場合は、専用のアダプター（シャットダウンアダプター）か専用ケーブル（シャットダウンケーブル）が必要です。

シャットダウンアダプター

シャットダウンアダプターは、UPSを接続しているコンピュータに使用します。
シャットダウンアダプターを下記のように接続します。



- *1 停電 + バッテリー低下信号
- *2 シャットダウン信号
- *3 停電 + バッテリー低下 + シャットダウン（停電信号と同じ）

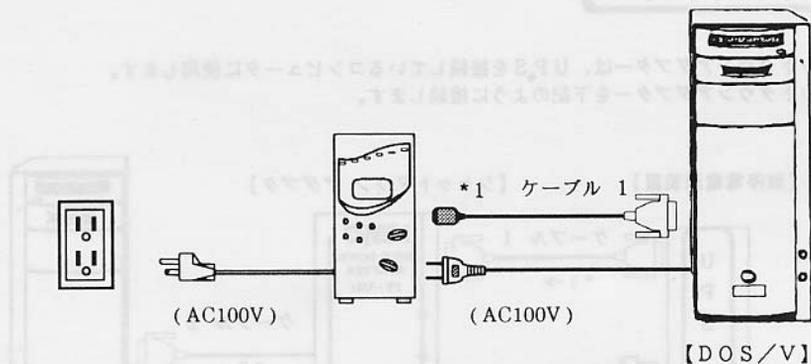
ケーブル 1 : シャットダウンアダプターのコネクタに接続します。
(シャットダウンアダプターのコネクタは、D-SUB9ピンプラグ側です。)

ケーブル 2 : パソコンのRS-232Cコネクタに接続します。
(D-SUB9ピンソケット側です。)

ケーブル 3 : PT-1500のREMOTE端子に接続します。

シャットダウンケーブル

シャットダウンケーブルは、UPSを接続していないコンピュータに使用します。



*1 シャットダウン信号 (UPS 停電信号と同じ)

ケーブル 1 : PT-1500のREMOTE端子, パソコンのRS-232C
コネクタに接続します。
(コンピュータとの接続は、D-SUB9ピンソケット側です。)

困った (トラブル) 時のQ&A

本体に関して

こんな症状 (Q)	確認内容 及び 対応 (A)
本体パネルスイッチが効かない	<ul style="list-style-type: none"> 設定レジスタのR20が0以外になっていませんか？ 本装置の底面ディップSWのSW2-1がONになっていませんか？ これらの設定は、本体パネルのスイッチを無効にします。
パネルの液晶表示が点滅している	直前に停電や電源プラグの抜き差しにより電源停止が発生したことを通知しています。 パネルのSETキーを押すと通常表示に戻ります。

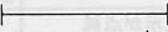
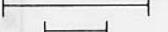
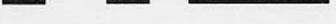
タイマ設定に関して

こんな症状 (Q)	確認内容 及び 対応 (A)
タイマの設定をしたのに確認すると設定されていない	タイマの設定は、“タイマNo××”になるまでSETキーを押さないと記憶されません。 途中で終了させると、そのタイマNoの変更内容は無効になります。

タイマ (スケジュール) による電源供給に関して

こんな症状 (Q)	確認内容 及び 対応 (A)
指定時間になっても電源を供給しない	<ul style="list-style-type: none"> タイマ設定の時間があっていますか？ タイマ設定でOFF設定の時間帯に指定していませんか？ ON設定よりもOFF設定の優先順位が高い為、ON設定が無視されています。 電源供給開始時刻に、リモート設定/パネル設定のモードに入っていませんか？ これらのモードに入っていると、開始時刻が無視されます。また、開始時刻を過ぎてモードを抜けても電源供給を開始しません。 タイマ設定は、時間が重なると一つの設定と見なして動作するため、下記のような操作をすると電源を供給しません。 <div style="text-align: center;"> <p>タイマNo. 01 (ON設定)</p> <p>タイマNo. 02 (ON設定)</p> <p>実際の電源供給動作</p> <p>↑ 電源供給開始しません</p> <p>↑ 手動による停止</p> </div>
指定時間になっても電源を停止しない	<ul style="list-style-type: none"> タイマ設定の時間があっていますか？ マニュアルによる電源供給になっていませんか？ 電源供給終了時刻に、リモート設定/パネル設定のモードに入っていませんか？ これらのモードに入っていると、終了時刻が無視されます。また、終了時刻を過ぎてモードを抜けても電源供給を終了しません。

タイマ (スケジュール) による電源供給に関して

こんな症状 (Q)	確認内容 及び 対応 (A)
<p>指定時間になっても電源を停止しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 電源供給保持条件が“タイマのみ”以外になっていませんか？ 本体LCD表示の下端左端を確認して下さい。 ⓐ以外の表示の場合、レジスタR30を確認して下さい。 タイマ設定は、時間が重なると一つの設定と見なして動作するため、下記のような設定になっていると指定時間が来てても電源停止をしません。 <div style="margin-top: 10px;"> <p>タイマNo. 01 (ON 設定) </p> <p>タイマNo. 02 (ON 設定) </p> <p>実際の電源供給動作 </p> </div> <ul style="list-style-type: none"> タイマ設定が、OFF設定だけになっていませんか？ OFF設定は、ON設定を無効にする設定ですので単独では動作しません。 <div style="margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">AUTO-OFFキーによる電源供給開始</p> <p>タイマNo. 01 (ON 設定) </p> <p>タイマNo. 02 (OFF 設定) </p> <p>実際の電源供給動作 </p> </div>

リモートパワー機能に関して

こんな症状 (Q)	確認内容 及び 対応 (A)
<p>モデムが着信しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> モデムの設定が自動着信になっていますか？ PT-1500に正しく接続されていますか？ 背面のDCE側のRS-232CコネクタにモデムのRS-232Cケーブルを接続して下さい。 モデム接続ありの設定にしていますか？ 通常表示の時、SETキーを押して確認して下さい。 “モデム ナシ”表示の場合、レジスタR2をR2=0に設定して下さい。
<p>モデムが着信しても電源を供給開始しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> PT-1500に正しく接続されていますか？ 背面のDCE側のRS-232CコネクタにモデムのRS-232Cケーブルを接続して下さい。 モデム接続ありの設定にしていますか？ 通常表示の時、SETキーを押して確認して下さい。 “モデム ナシ”表示の場合、レジスタR2をR2=0に設定して下さい。 リモートパワー機能禁止になっていませんか？ レジスタR43を確認して下さい。 リモートパワー機能禁止時間帯になっていませんか？ レジスタR47、R48、R49を確認して下さい。 リモートパワーの立ち上げ信号の設定 (レジスタR41) を確認して下さい。 工場出荷は、モデムのCI信号になっています。

リモートパワー機能に関して

こんな症状 (Q)	確認内容 及び 対応 (A)
<p>モデムに着信して電源を供給するがすぐに電源停止になる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電源供給保持条件の設定 (レジスタ R 4 4) が実際の保持信号と合っていますか? 工場出荷は、パソコン側の E R 信号になっています。 ・ モデムの着信から、電源供給保持条件になるまでの時間が長くありませんか? 保持信号待ち時間 (T 1) 以内に電源供給保持条件にならないと P T - 1 5 0 0 は電源供給を停止します。 T 1 を長めに設定して下さい。 ・ 保持信号待ち時間 (T 1) は、レジスタ R 4 5 で変更できます。 (工場出荷は、3 0 秒です。)
<p>モデムが回線を切断したのに電源停止をしない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電源供給保持条件の設定 (レジスタ R 4 4) を確認して下さい。 ・ モデムの通信終了により電源を切断するには、保持条件が C D 信号 (レジスタ R 4 4 = 1) , D R 信号 (レジスタ R 4 4 = 2) になっている必要があります。 (工場出荷は、パソコン側の E R 信号になっています。)

リモート設定に関して

こんな症状 (Q)	確認内容 及び 対応 (A)
<p>リモート設定に入れない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ I D が正しく設定されていますか? パネル操作によって、レジスタ R 1 0、R 1 1、R 1 2 を確認して下さい。 ・ P T - 1 5 0 0 とパソコン通信ソフトの通信条件が一致していますか? P T - 1 5 0 0 の通信条件 (底面ディップ S W で設定) とパソコン通信ソフトの通信条件を合わせて下さい。
<p>P T - 1 5 0 0 に接続されているパソコンからリモート設定ができない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ リモート設定の設定方法が「接続パソコンより」 (レジスタ R 1 = 1) になっていますか? ・ 接続しているモデムの電源が入っていますか? ・ モデムが接続されていないのに、モデム接続の設定が「モデム接続あり」 (レジスタ R 2 = 0) になっていませんか? 通常表示の時、S E T キーを押して確認して下さい。 “モデム アリ” 表示の場合、レジスタ R 2 を R 2 = 1 に設定して下さい。 ・ 本体 L C D がタイマ設定、日時設定、レジスタ設定時の表示になっていませんか? これらのモードの時、リモート設定はできません。 設定モードを終了させて下さい。

リモート設定に関して

こんな症状 (Q)	確認内容 及び 対応 (A)
モデムを使って遠隔地よりのリモート設定ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・ リモート設定の設定方法 (レジスタ R1) がモデムよりになっていますか？ ・ モデム接続の設定 (レジスタ R2) がモデム接続ナシになっていませんか？ <p>通常表示の時、SETキーを押して確認して下さい。 モデム接続ナシの場合、遠隔地モデムよりのリモート設定はできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本体LCDがタイマ設定、日時設定、レジスタ設定時の表示になっていませんか？ <p>これらのモードの時、リモート設定はできません。 各モードは無操作時、約3分後に通常モードに戻りますのでその後、もう一度行って下さい。</p>

その他

こんな症状 (Q)	確認内容 及び 対応 (A)
レジスタの設定内容を工場出荷値に戻したい	<ul style="list-style-type: none"> ・ AUTO/MANUALキー & AUTO-OFFキーを同時に押しながら、本装置の電源プラグを電源コンセントに入れる。 ・ AUTO/MANUALキー & AUTO-OFFキーを同時に押しながら、本装置底面のリセットキーを押す。 <p>ただしこの場合、時計機能/タイマ設定も全て初期化されます。</p>



警告

設定値を工場出荷値に戻した場合、時計機能/タイマ設定も含めてユーザーが変更可能な設定値全てが工場出荷値になります。

付録

休日カレンダー

登録済みの祝日／振り替え休日について

休日設定を有効（R23=1）にすると、祝日／振替休日は下記ようになります。

祝日／振替休日（2015年まで）

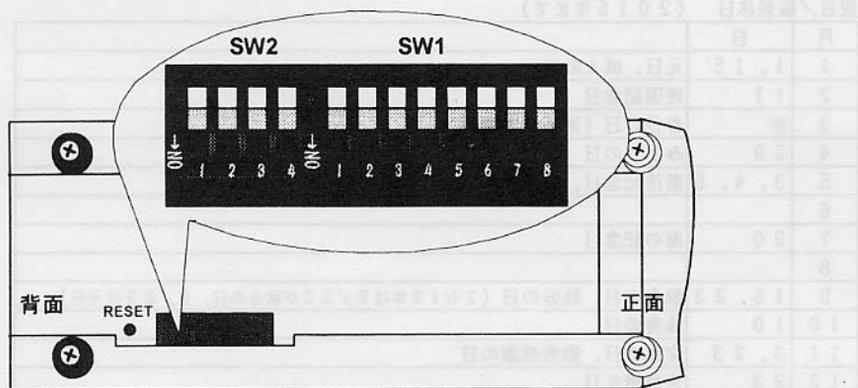
月	日	
1	1, 15	元日, 成人の日
2	11	建国記念日
3	※	春分の日（※下表参照）
4	29	みどりの日
5	3, 4, 5	憲法記念日, 国民の休日, こどもの日
6		
7	20	海の記念日
8		
9	15, 23	敬老の日, 秋分の日（2012年は9/22が秋分の日, 9/23は平日）
10	10	体育の日
11	3, 23	文化の日, 勤労感謝の日
12	23	天皇誕生日

振替休日／春分の日（※は春分の日）

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
1月	2, 16										
2月		12					12				
3月	※21	※20	※20	※21	※21,22	※20	※20	※21	※21	※20	※20,21
4月							30				
5月		6						6			
6月											
7月			21						21		
8月											
9月		16					24	16			
10月					11					11	
11月		4	24					4	24		
12月							24				

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
1月	2, 16						2, 16			
2月		12								
3月	※21	※21	※20	※20	※21,22	※21	※20	※20	※21	※21
4月		30					30			
5月								6		
6月										
7月			21						21	
8月										
9月		24						16		
10月					11					
11月			24					4	24	
12月		24					24			

底面部ディップスイッチ



リセットスイッチ

PT-1500の動作に対してのリセットです。
タイムスケジュール，日時設定，レジスタ設定等の設定内容はそのままです。

ディップSW1

リモート設定時の通信条件を設定します。

- ・ データ長
- ・ ストップビット
- ・ パリティチェック
- ・ 通信速度 (300, 1200, 2400, 4800, 9600, 19200 bps)

ディップSW2

リモート設定時の通信条件，パネルキーの有効/無効を設定します。

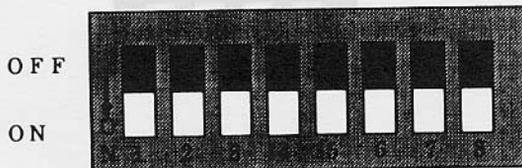
- ・ エコーバック
- ・ フロー制御の有無
- ・ フロー制御方式
- ・ パネルキーの有効/無効



PT-1500設定の終了後は、PT-1500の電源を入れ直すか
リセットSWを押して下さい。

◆ リモート設定用の通信条件設定

SW1



SW1-1 : 常にOFF (使用禁止)

SW1-2 : データ長 (初期値 : 8ビット)

SW1-2	機 能
OFF	データ長 8ビット
ON	データ長 7ビット

SW1-3 : ストップビット (初期値 : 1ビット)

SW1-3	機 能
OFF	ストップビット 1ビット
ON	ストップビット 2ビット

SW1-4, 5 : パリティチェック (初期値 : パリティなし)

SW1-4	SW1-5	パリティチェック
OFF	OFF	パリティなし
ON	OFF	奇数パリティ
OFF	ON	偶数パリティ
ON	ON	パリティなし

SW1-6, 7, 8 : 通信速度 (初期値 : 9600bps)

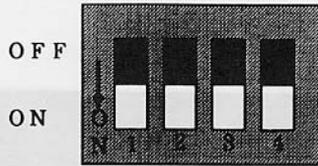
SW1-6	SW1-7	SW1-8	通信速度
OFF	OFF	OFF	9600 bps
ON	OFF	OFF	300 bps
OFF	ON	OFF	1200 bps
ON	ON	OFF	2400 bps
OFF	OFF	ON	4800 bps
OFF	ON	ON	19200 bps



SW1-1は、常にOFFにして下さい。
ONにした場合、動作が保証されません。



SW2



SW2-2 : エコーバック (初期値 : 有り)

SW2-2	エコーバック
OFF	有り
ON	なし

SW2-3 : フロー制御方式 (初期値 : X-ON/X-OFF制御)

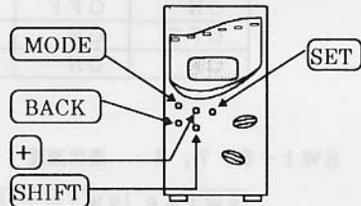
SW2-3	フロー制御方式
OFF	X-ON/X-OFF
ON	ハードフロー

SW2-4 : フロー制御の有無 (初期値 : フロー制御有り)

SW2-4	フロー制御の有無
OFF	フロー制御有り
ON	フロー制御無し

◆ パネルキーの有効/無効

右記のパネルキー操作全てを有効/無効に設定する事ができます。



SW2-1 : パネルキーの有効/無効 (初期値 : 有効)

SW2-1	パネルキーの有効/無効
OFF	有効
ON	無効



お知らせ

レジスタR20は個別にパネルキー操作の有効/無効を設定することができます。

機能仕様

- ① インターフェース EIA RS-232C (×2)
 REMOTE端子 (×1)
 EXT端子 (×1) オプション
- ② 使用電源 AC100V ±10% (50/60Hz)
- ③ スケジュール登録 100件
- ④ 停電時のメモリー保護時間 約2週間
- ⑤ 時計精度 平均月差±30秒 (周囲温度25℃にて)
- ⑥ 表示部 8文字2行表示LCD
- ⑦ 出力端子 アース付き3Pコンセント (×3)
- ⑧ 出力容量 AC100V (最大15A)
- ⑨ 出力形態 リレー接点出力
 (開路時もれ電流: 1.2mA)
- ⑩ 内部消費電力 約3W (最大8W ALEX*TM接続時)
- ⑪ 外形寸法 70(W) × 145(H) × 220(D) mm
- ⑫ 重量 約1.8Kg
- ⑬ 使用環境 温度: 5~35℃
 湿度: 20~80% (但し、結露なきこと)

インターフェース仕様

設計部

外部接続するコネクタ仕様を以下まとめます。

1) コネクタ仕様

① DCE (IN)

DCE側にRS232Cケーブルを接続します。

型番: JBY-25S-1A3B

メーカー: 日圧

ピン数: 25ピン

ピン番	信号名	方向	ピン番	信号名	方向
1	(スルー)	--	14	(スルー)	--
2	SD	OUT	15	(スルー)	--
3	RD	IN	16	(スルー)	--
4	RS	OUT	17	(スルー)	--
5	CS	IN	18	(スルー)	--
6	DR	IN	19	(スルー)	--
7	SG	--	20	ER	OUT
8	CD	IN	21	(スルー)	--
9	(スルー)	--	22	CI	IN
*1 10	オープン / (スルー)	--	23	(スルー)	--
*2 11	オープン / (スルー)	--	24	(スルー)	--
12	(スルー)	--	25	(スルー)	--
13	(スルー)	--	---		

スル: DCE (IN) コネクタとDTE (OUT) コネクタ間がストレートに結線

*1: 工場出荷時はオープン

*2: 工場出荷時はオープン

②DTE (OUT)

DTE側にRS232Cケーブルを接続します。

型番: JBY-25S-1A3B

メーカー: 日圧

ピン数: 25ピン

ピン番	信号名	方向	ピン番	信号名	方向	
1	(スルー)	--	14	(スルー)	--	
2	SD	IN	15	(スルー)	--	
3	RD	OUT	16	(スルー)	--	
4	RS	IN	17	(スルー)	--	
5	CS	OUT	18	(スルー)	--	
6	DR	OUT	19	(スルー)	--	
7	SG	--	20	ER	IN	
8	CD	OUT	21	(スルー)	--	
9	(スルー)	--	22	CI	OUT	
*1	10	N52-OUT/(スルー)	OUT	23	(スルー)	--
*2	11	FMR-OUT/(スルー)	OUT	24	(スルー)	--
	12	(スルー)	--	25	(スルー)	--
	13	(スルー)	--			

*1: N5200接続時の専用ピン

(工場出荷時は N52-OUT)

*2: FMR接続時の専用ピン

(工場出荷時は FMR-OUT)

③REMOTE

リモートパネル (オプション) を接続します。

型番: TCS7930-18-401

メーカー: ホシデン

ピン数: 8ピン

ピン番号	モード 0	モード 1
1	MANUAL-LED (OUT)	TxD (送信データ) (OUT)
2	AUTO-LED (OUT)	RxD (受信データ) (IN)
3	OUT-LED	(OUT)
4	VPP(+12V)出力	(OUT)
5	UPS-OUT	(OUT)
6	AUTO/MANUALスイッチ入力	(IN)
7	AUTO-OFFスイッチ入力 (外部端子入力)	(IN)
8	GND	

備考: 工場出荷時はモード0とします。

*1: ジャノハ®で切替えます。

J3:①-② MANUAL-LED ②-③ TxD

TxD: RS-232D 通信回線

J4:①-② AUTO-LED ②-③ RxD

RxD: RS-232D 通信回線

③EXT (オプション)

ALEXボード (別売) を接続します。

型番: TCS7649-01-201

メーカー: ホシデン

ピン数: 4ピン

ピン番号	信号名	機能	方向
1	VPP(+12v)	+12v 出力	OUT
2	GND	グラウンド	--
3	ALEX_SW	接点入力	IN
4	GND	グラウンド	--

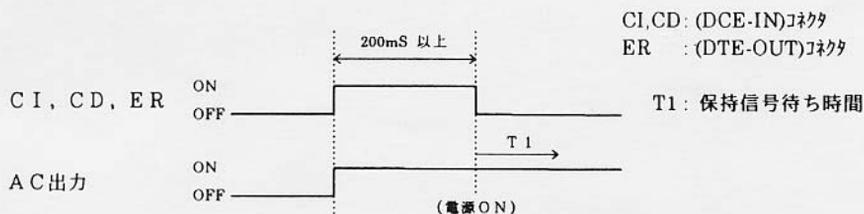
このコネクタはオプションで、工場出荷はついていません。

ピン番号	信号名	機能	方向
1	MANUAL LED	MANUAL LED	OUT
2	AUTO LED	AUTO LED	OUT
3	OUT LED	OUT LED	OUT
4	VPP(+12V) IN	VPP(+12V) IN	IN
5	UPS OUT	UPS OUT	OUT
6	AUTOMANUAL LED	AUTOMANUAL LED	OUT
7	AUTO GEM LED	AUTO GEM LED	OUT
8	GND	GND	--

入力信号の有効パルス幅

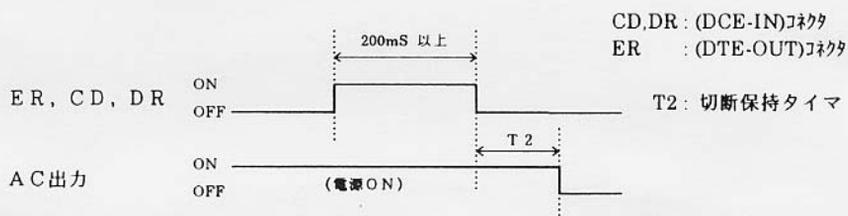
A) 立ち上げ信号

CI, CD, ER信号を立ち上げ信号として使用する場合は、200ms(0.2秒)以上の信号が必要です。



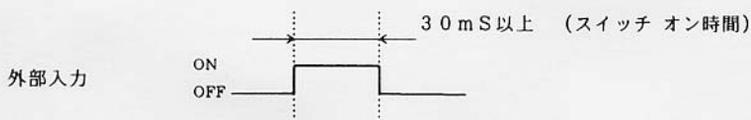
B) 保持信号

ER, CD, DR信号を保持信号として使用する場合は、200ms(0.2秒)以上の信号が必要です。



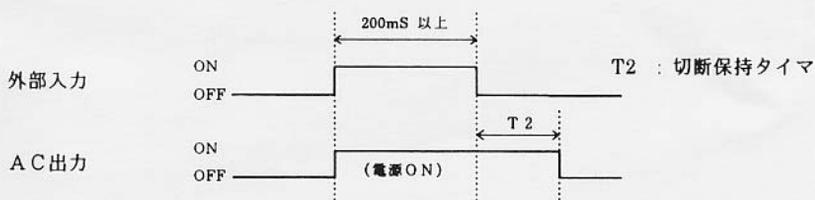
C) REMOTE端子 (オプションのリモートパネル専用端子)

8ピンミニDINコネクタの『AUTO/MANUAL』, 『AUTO-OFF』ピンよりの入力信号の最小値は30msとします。



D) EXT端子 (オプション端子)

オプション端子より立ち上げ起動する場合は200ms(0.2秒)以上の信号が必要です。



明京電機株式会社